

Takara standard

ホーロートイレクリーンパネル(フロア用)

[フリータイプ]

取扱説明書

設置説明書



もくじ

取扱説明書

安全上のご注意	2
お手入れのしかた	2
定期的な点検	2

設置説明書

安全上のご注意	3
設置上のご注意	4
設置手順	6
オプション設置の場合	29
点検・仕上げ	30
お願い事項	30
保証書	31
アフターサービス	32

お客様へ

このたびは、ホーロートイレクリーンパネル(フロア用)[フリータイプ]をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

- ◆ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に、「安全上のご注意」については、必ずご使用前にお読みいただき、安全にお使いください。
- ◆この取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に、大切に保管してください。

設置される方へ

- ◆この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
- ◆設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。
- ◆設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- ◆本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
- ◆梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 必ず実行 このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

🚫 禁止 このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

⚠ 注意



必ず実行

- 小水や結露等の水で濡れた場合は、すみやかにふき取る
濡れたまま使用すると滑ってケガをするおそれがあります
- 清掃用薬剤がパネルに付着した場合は、すみやかにふき取る
付着したまま放置するとシミの原因になるおそれがあります
- 製品が破損したり、ガタついたりしている場合は、すぐに取り替える
破損部位でケガをするおそれがあります
- トイレマットを使用する場合は、定期的に位置をずらすなどする
エッジが変色するおそれがあります



禁止

- パネルに過度な衝撃を与えない
傷ついたり変形したりするおそれがあります
- 鋭利なもので突いたり、硬いもので表面をこすったりしない
傷等の原因になります
- パネルやエッジの上に火のついたタバコをおかない
コゲ跡がつくおそれがあります
- ワックスはかけない
付着したままだと、滑りやすく危険です

お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには、日頃のお手入れが大切です。なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

- ・水を含ませて固くしぼった布またはスポンジでふいてください。その後、乾いた布でふき取ってください。
- 落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。
- その後、水を含ませて固くしぼった布、またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。製品をいためるおそれがあります。



定期的な点検

製品を長年ご使用になりますと、部品などの経年劣化により安全上の支障をきたす恐れがあります。製品をより長く、安全・安心・快適にお使いいただくため、年に1回を目安にお客様ご自身による定期点検を行っていただきますようお願いいたします。

点検部位	こんな症状はありませんか？	経年劣化により想定される危害・損害
パネル	ひび割れや欠けがある。	ひび割れや欠けによるケガ
エッジ	剥がれや欠けがある。	剥がれや欠けによるケガ

安全上のご注意 **必ずお守りください**

■設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

■表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡や重傷を負うことが想定される」内容です。

注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

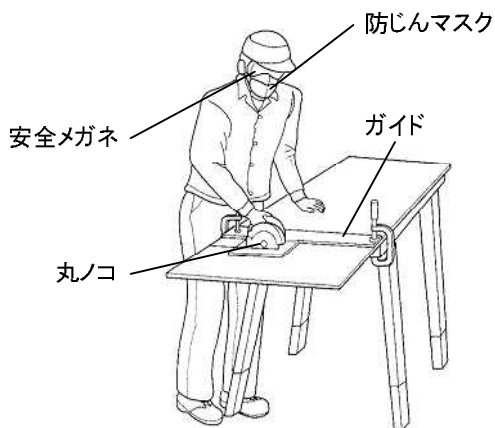
■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

必ず実行 このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

- パネル切断加工の際には安全メガネ、防じんマスク等を着用する
切り粉が目に入ると失明したり、ヤケドをするおそれがあります

必ず実行



- 電気工事、水道工事は、関連する法令・規定にしたがい、必ず「有資格者」が行う
接続や固定が不完全な場合は、火災や水もれの原因になることがあります

必ず実行

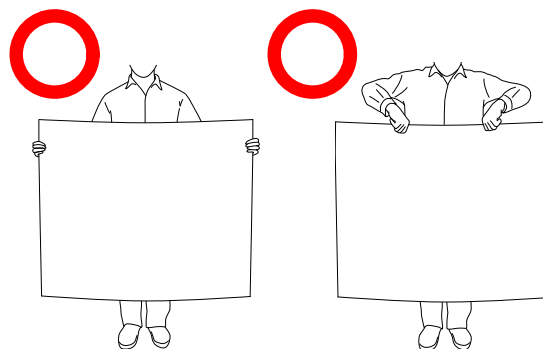
注意

- パネルに過度な衝撃を与えない
傷ついたり変形したりするおそれがあります
- 必ず下地の状態を確認する
下地の条件が悪いと接着不良や破損の原因となります
- 設置前に濡れ布巾等で下地の汚れを除去する
接着不良の原因になります

必ず実行

- パネルは正しく持つ
傷ついたり変形したりするおそれがあります

必ず実行



設置上のご注意

下地のご確認

・下記注意事項をよく読み、既存の床の状態をよく確認してから設置作業にあってください

設置可能な下地

- 木質フローリング、クッションフロア(床に全面貼りされている状態のもの)

※但し、下記の状態に該当しないもの

設置できない下地

- コンクリート

※裏面に結露が発生し、下地が腐食・変形して製品に破損の恐れがあります

※表面に結露が発生し、滑って転倒する恐れがあります

- 床暖房の床

※床暖房の仕様によって、施工できない場合があります

事前にご相談ください

- 下地に腐食・床鳴りのある場合

※床面全体を足で踏んで下地の劣化がないか確認してください

- 下地に1mm以上の段差、5mm/m以上の不陸がある場合

- 下地に浮きがある場合

- 下地の汚れが著しい場合

※接着不良の原因となります

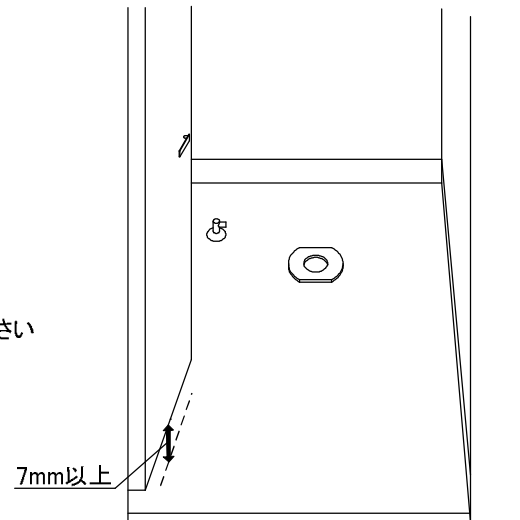
中性洗剤等で汚れを除去し、乾いた状態にしてから設置作業を始めてください

- 表面にワックス等を塗布している場合

※剥離剤等で除去してください

- ドア下の隙間(アンダーセット)が7mm以下の場合

※ドアが内開きの場合、ドアが開かない可能性があります(右図参照)



設置前のご確認

- 注文した製品が納入されているか確認してください
- 設置する場所の直角、水平レベルを確認してください
- 設置には以下の特殊工具、部材が必要ですので当社にてお求めください

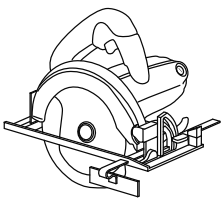

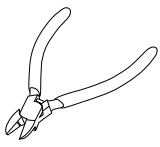
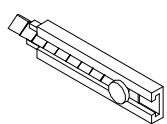
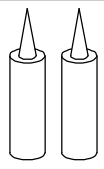
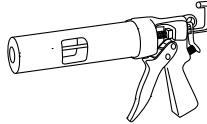


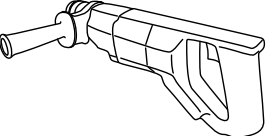
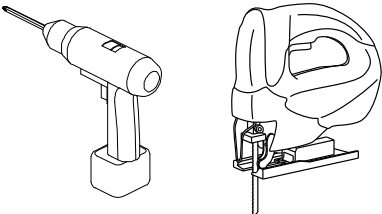
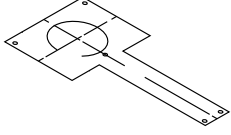
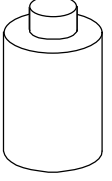
※切断には必ず当社指定の刃物を用いてください
それ以外の工具で加工すると、ホーローに大きいダメージが発生するおそれがあります

部材一覧表

●トイレパネル

品名	内容物		略図
PZYO	パネル W1040mm × D1180mm	1枚	
	取扱設置説明書	1冊	
エッジPZY	エッジ L=1191mm(幅12mm)	4本	 
エッジPZYO	エッジ L=1500mm(幅20mm)	1本	 
補強板PZYO	パネル W914mm × D485mm	1枚	

●必要工具、部材 ★網掛け部は特殊工具、部材

パネル切断用		エッジ加工用		パネル、エッジ取付用		
丸のこ	KPカッター	ニッパー	カッター	シリコン(2本)	コーキングガン	両面テープ
						
				シリコンSBKP (ホホワイト2/Dアイボリー)		厚み 1.0mm 幅 18mm
パネル穴加工用						防錆用
ホールソー	電動ドリル	ジグソー	型紙	防錆剤		
						
			※便器セットに同梱されています			

設置手順

●下記手順にしたがって設置してください。

(準備1)部材確認 → (準備2)扉位置・形状確認

→ (1)取付位置確認 → (2)パネル加工 → (3)補強板加工 → (4)防錆剤の塗布

→ (5)エッジ加工 → (6)補強板の設置 → (7)パネルの設置 → (8)エッジの取付

→ (9)コーキング処理

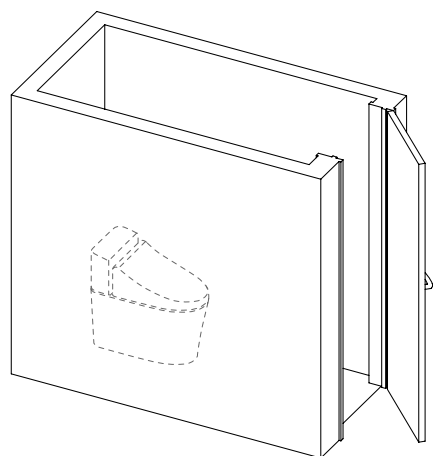
(準備1)部材確認

●P.5 設置前のご確認 [部材一覧表](#) で確認してください

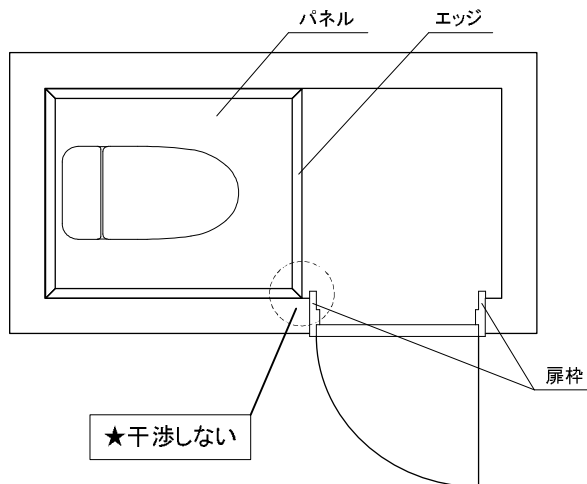
(準備2)扉位置・形状確認

●トイレの部屋状況によって施工方法が異なりますので、以下を確認してください

①・扉位置が前の場合

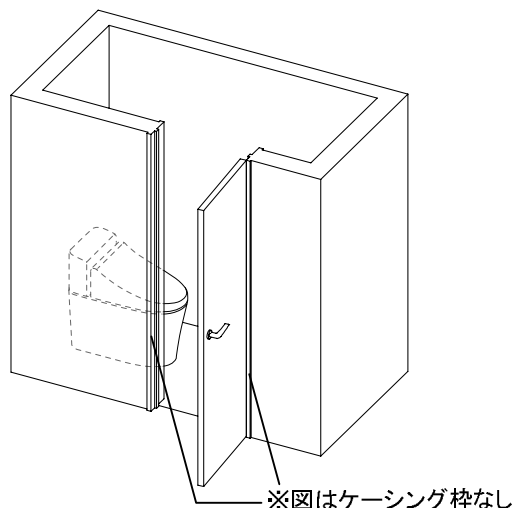


・扉位置が横で、パネルやエッジが扉枠と干渉しない場合

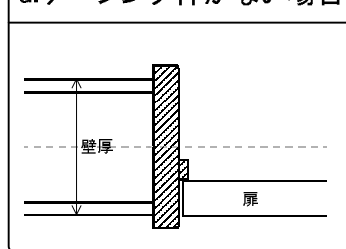


P.7からの設置手順を参照ください

②扉位置が横の場合

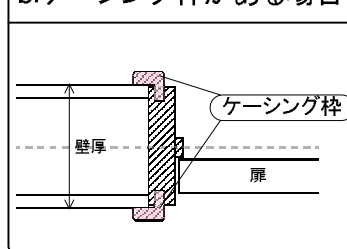


a.ケーシング枠がない場合



P.13からの設置手順を参照ください

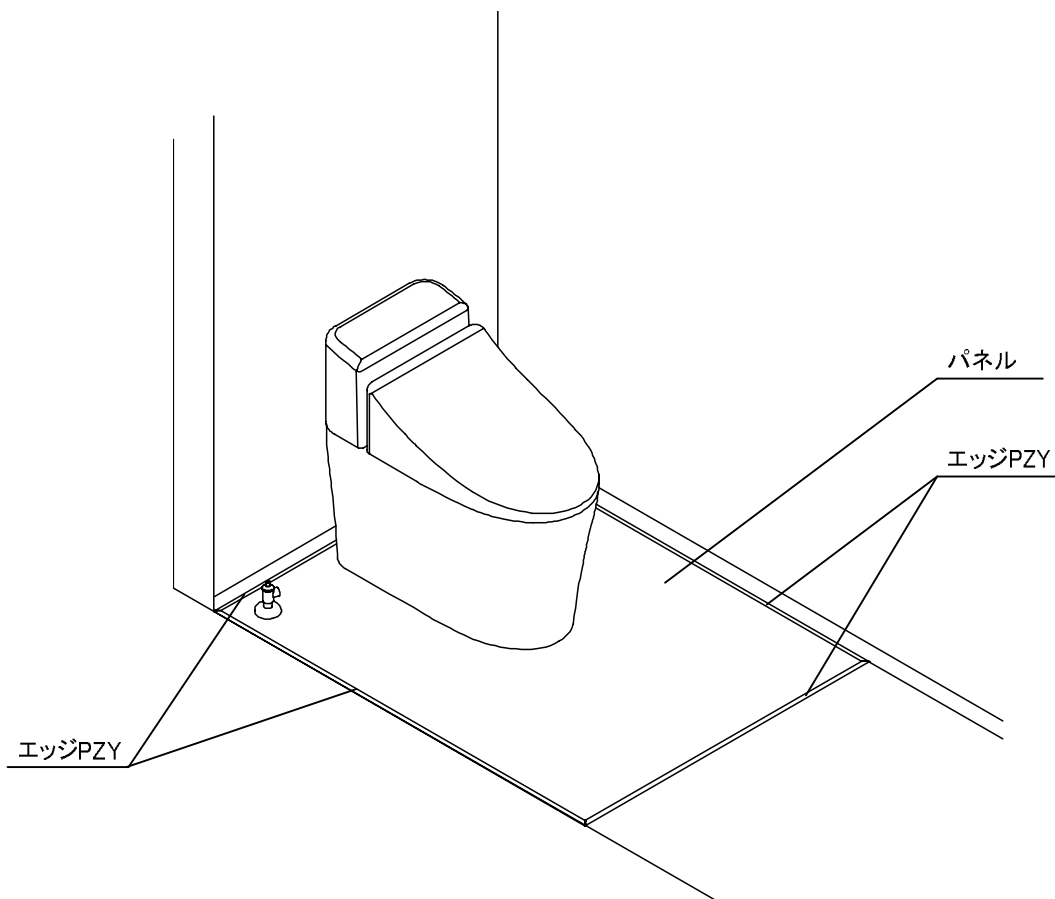
b.ケーシング枠がある場合



P.21からの設置手順を参照ください

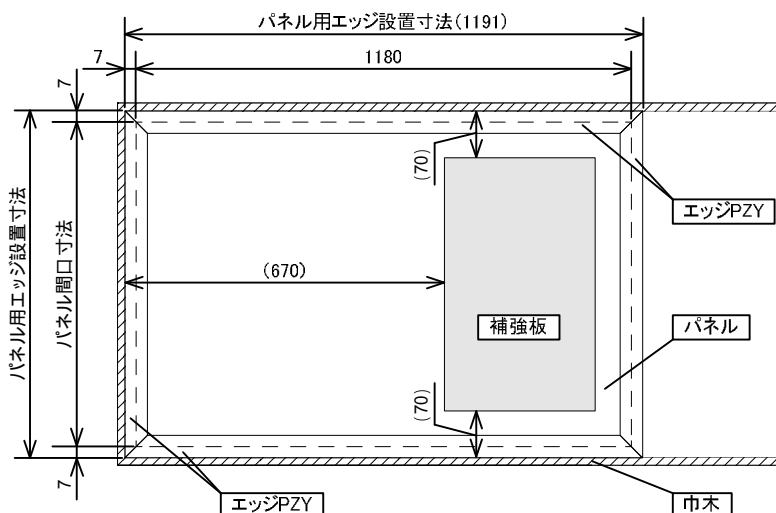
①扉位置が前(パネルやエッジが扉枠と干渉しない)場合

セット完成図

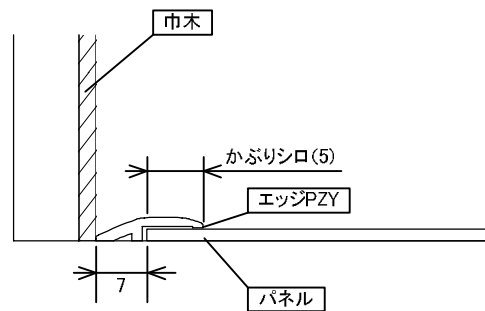


標準設置寸法図

平面図



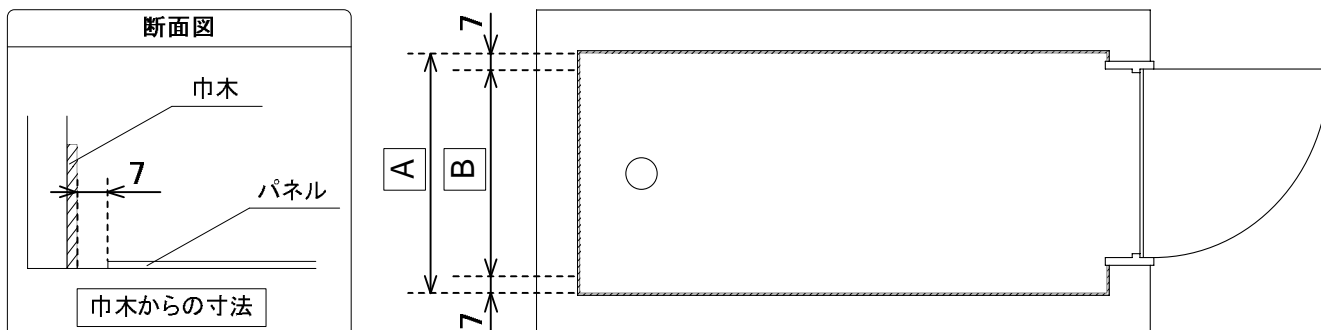
立断図



(1) 取付位置確認

(2) パネル加工

- ① 下図を参考にして、設置間口寸法 **A** を採寸します
- ② 下図を参考にして、パネル加工寸法 **B** を算出します

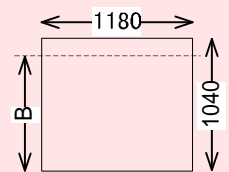


- ③ ②で割り出した寸法 **B** をパネルにけがきます
- ④ けがき線に沿ってパネルを切断します

パネル切断後寸法 (**B**) = **A** 寸法 (mm) - 14mm

※お願い

・パネルの加工は、必ず
1040mmの辺で行ってください



※お願い

・切断には必ず当社指定の刃物を用いてください
それ以外の工具で加工すると、ホーローに大きいダメージが発生するおそれがあります

刃物は約10mの切断作業で切れが悪くなってきます

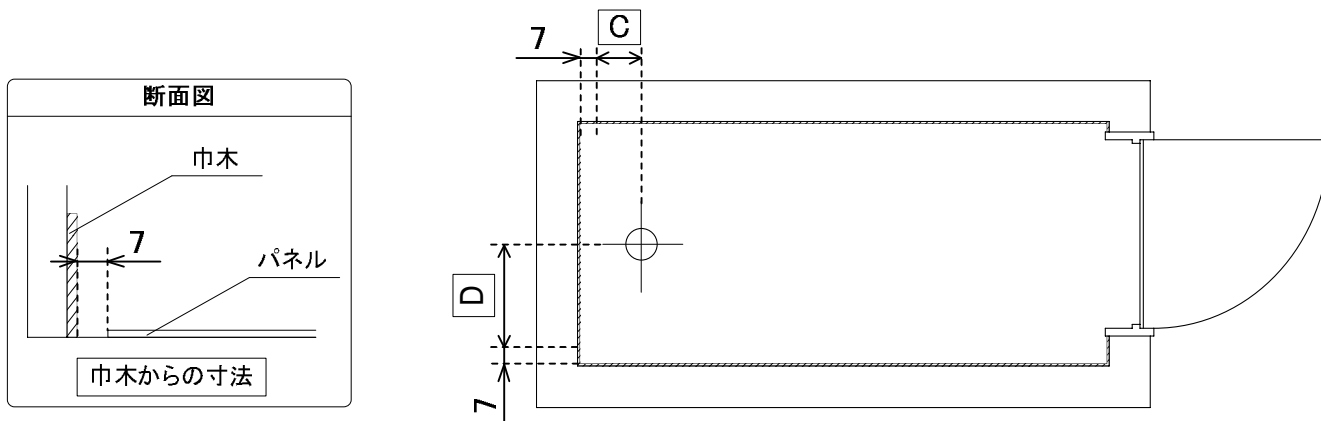
ホーローにダメージ発生の恐れがありますので、約10mを目安に刃物は交換してください

- ・刃物の出シロを20mm~30mm程度にすると、ホーローへのダメージが小さくなります
- ・切断の際はパネルを安定した作業台の上に乗せ、ガイドを設置し切断してください
- ・パネルの養生シートは貼付けたまま切断作業を行ってください
- ・切断の際には切粉が発生しますので防じんマスク、安全メガネを必ず着用してください
- ・作業は屋外で行ってください
やむを得ず屋内で作業を行う場合には、周囲を十分に養生し防じん機能付き丸ノコを使用してください

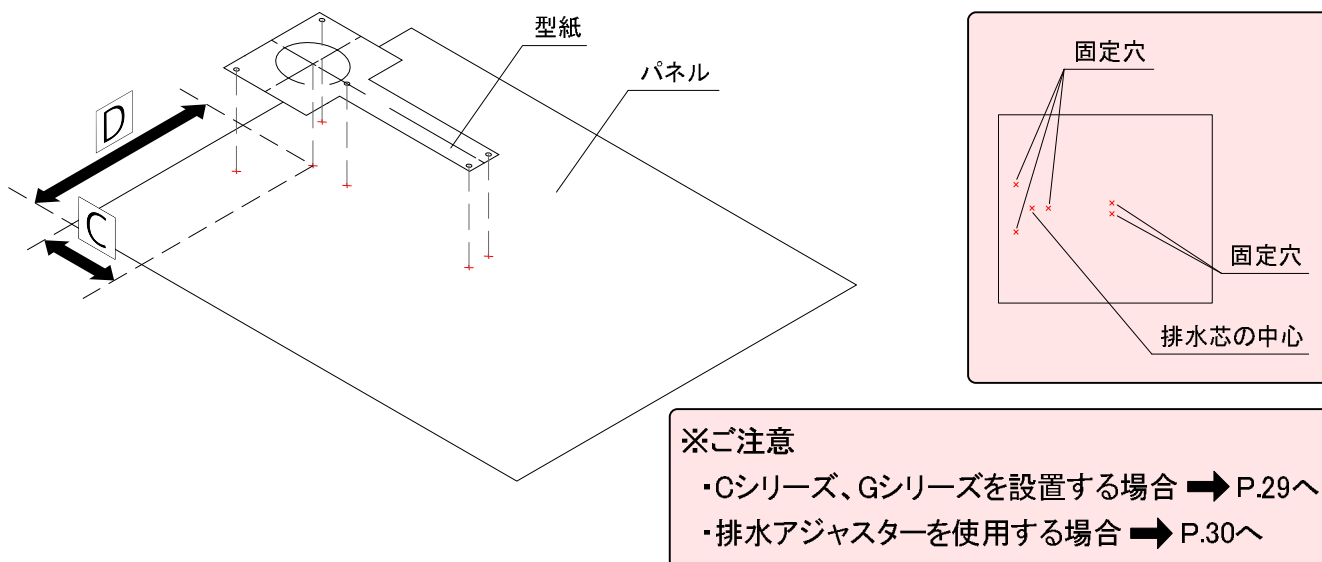
⑤ パネルの穴あけ加工をします

● 排水芯・便器固定穴の穴あけ

1. 下図寸法 **C** **D** を参考にして、パネルに排水芯の中心線をけがきます

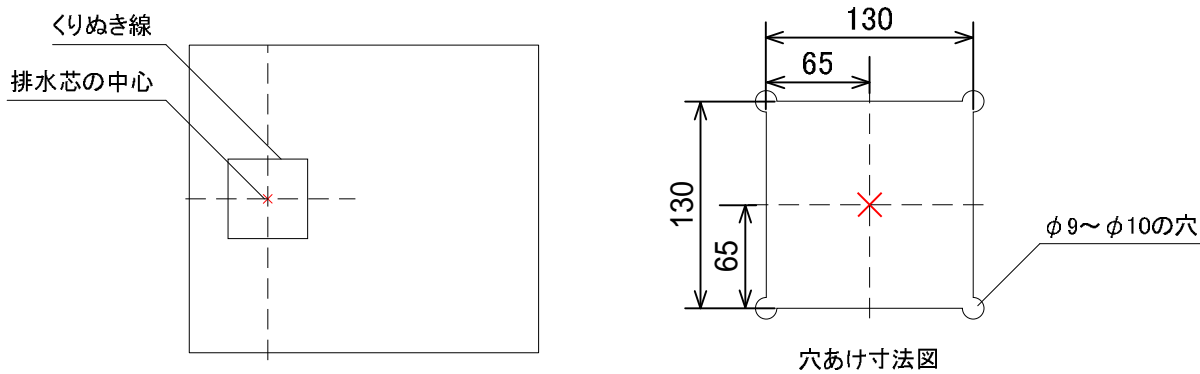


2. 1でけがいた排水芯の中心線に型紙(便器セットに同梱)を合わせ、
パネルに排水ソケット固定位置・固定用部材取付位置をけがきます



3. 排水芯の穴あけ

- ・穴あけ箇所の養生シート上にくりぬき線を記入します
- ・くりぬき線の四隅に $\phi 1.5 \sim \phi 2$ のガイド穴をあけ、その後 $\phi 9 \sim \phi 10$ の穴をあけます
- ・記入したくりぬき線に沿って、ジグソーなどでくり抜きます

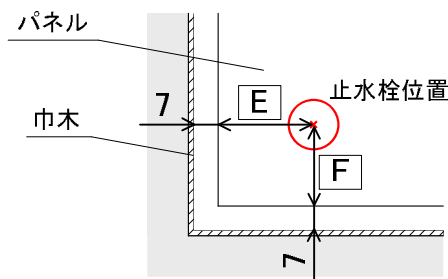


4. 固定穴の穴あけ

- ・2でけがいた固定穴位置に $\phi 1.5 \sim \phi 2$ のガイド穴をあけ、その後 $\phi 9 \sim \phi 10$ の穴をあけます

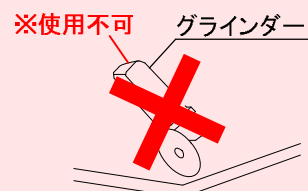
● 止水栓の穴あけ

1. 右図寸法E・Fを参考にして、
パネルに止水栓の中心線をけがきます
2. 1でけがいた中心線に、
 $\phi 50$ のホールソーを使用して穴をあけます



※お願い

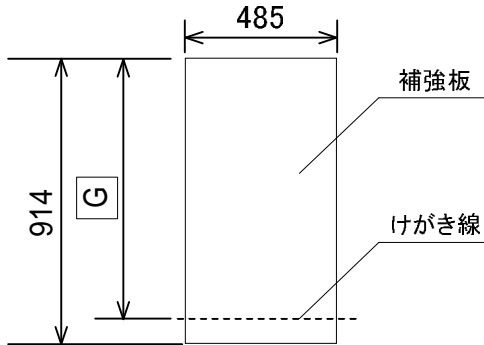
- ・穴あけ加工の際には、グラインダーを絶対に使用しないでください
火の粉がホールロー表面に飛散し、取れなくなります
(ジグソーなどでくりぬいた後の端面仕上げにも使用しないでください)



- ⑥加工完のパネルを床に合わせ正しく取付位置に納まることを確認し、墨出しを行ってください
※P.8 標準設置寸法図参照

(3)補強板加工

①下図を参考にして、補強板加工寸法[G]を算出します

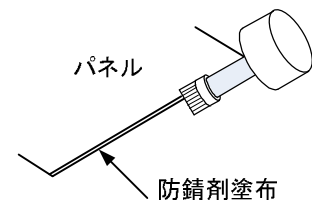


- ② ①で割り出した寸法[G]を補強板にけがきます
- ③ けがき線に沿って補強板を切断します
- ④ 加工完の補強板を床に合わせ正しく取付位置に納まることを確認し、墨出しを行ってください
※P.7 標準設置寸法図参照

(4)防錆剤の塗布

・切断、穴加工を行ったパネル切断面に対し防錆処理を施します

- ① 切断面にバリがある場合、ヤスリで仕上げます
- ② 切断面が油等で汚れている場合、よくふき取ります
- ③ 切断面に防錆剤を塗布します



※お願い

- ・必ず当社指定の防錆剤を使用してください
- ・防錆剤は防錆成分が沈殿していますので、使用の際にはよくかき混ぜてお使いください
- ・塗布は塗りムラのないよう行ってください

(5)エッジ加工

①エッジPZY(幅12mm)を所定の長さに切断します

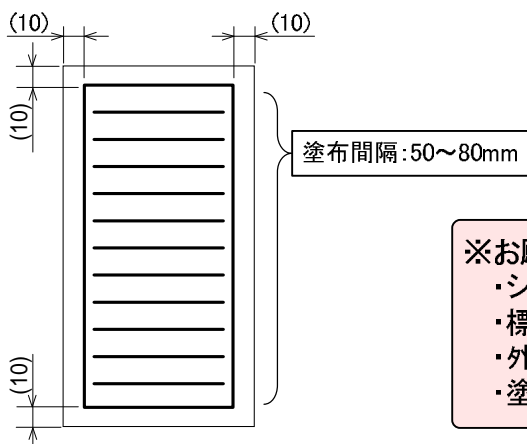
※P.7 標準設置寸法図参照

※前扉の場合、エッジPZYO(幅20mm)は使用しません

(6)補強板の設置

①シリコンの塗布

1. 塗布面(補強板裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に当社指定のシリコンを塗布します

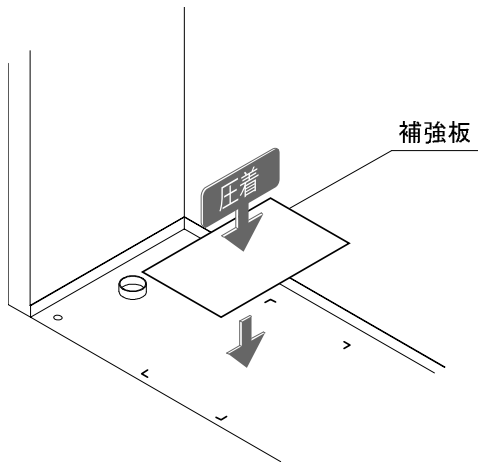


※お願い

- ・シリコン剤は必ず当社指定のものを使用してください
- ・標準塗布量は1m当り約20mlです(接着剤太さ5mm程度)
- ・外周部はパネルより10mm程度控えて塗布してください
- ・塗布後15分以内にパネル取付を行ってください

②補強板の設置

1. 床面のほこり等をふき取ります
2. (3)補強板加工 (4)で墨出した基準線に沿って、補強板を床面に軽く置きます
3. 補強板をしっかりと圧着します



※お願い

- ・正しい位置に配置されたか確認してください
- ・排水フランジにシリコンが付着しないよう注意してください
- ・パネルの浮きがないようしっかりと押さえつけてください

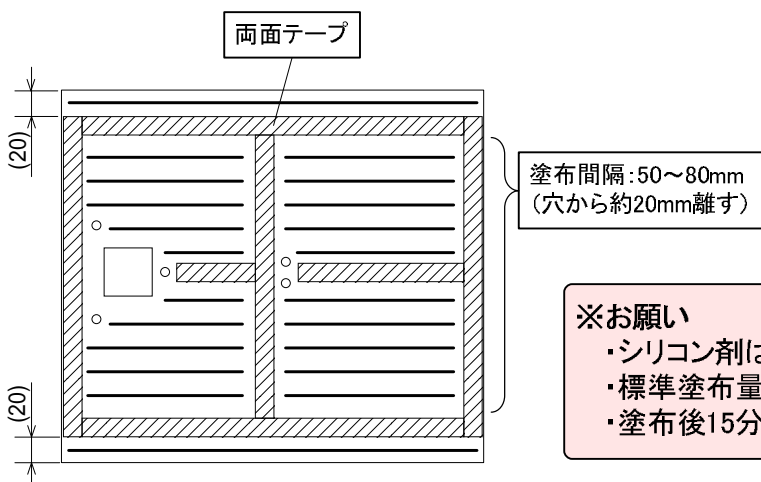
(7)パネルの設置

①両面テープの貼付

1. 塗布面(パネル裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に両面テープを貼付けます
3. 貼付け後、テープ離型紙の上からよく押さえつけます

②シリコンの塗布

1. 塗布面(パネル裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に当社指定のシリコンを塗布します



※お願い

- ・シリコン剤は必ず当社指定のものを使用してください
- ・標準塗布量は1m当り約20mlです(接着剤太さ5mm程度)
- ・塗布後15分以内にパネル取付を行ってください

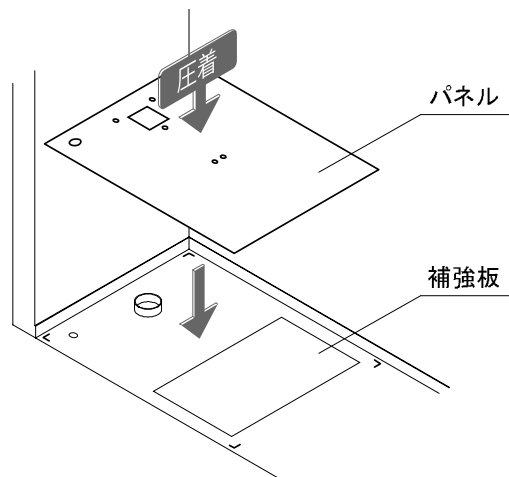
【色対応表】

※パネル色、エッジ色、シリコン色の対応は下記表を参照ください

パネル色	エッジ色	対応シリコン
大理石柄ホワイト(DWT) 木目柄ホワイト(YWT)	ホワイト(MW)	シリコンSBKP ホワイト2
木目柄ベージュ(YVT)	ベージュ(MB)	シリコンSBKP Dアイボリー

②パネルの設置

1. 床面のほこり等をふき取ります
2. 両面テープの離型紙をはがします
3. (2)パネル加工 ⑤で墨出した基準線に沿って、パネルを床面に軽く置きます
4. パネル位置調整後、しっかりと圧着します



※ご注意

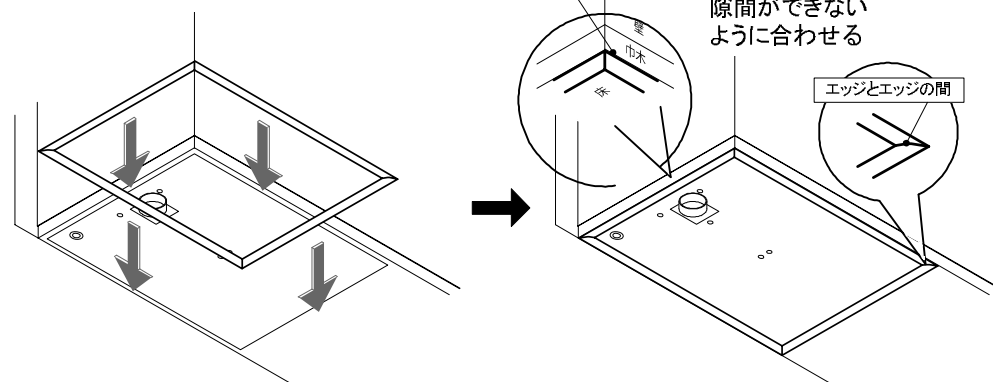
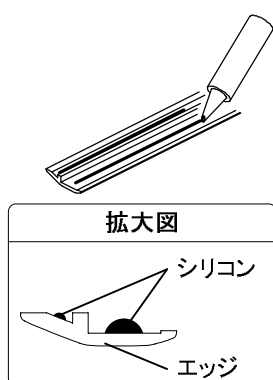
- ・建築側に傷を付けないよう、ゆっくりと倒しながら設置してください

※お願い

- ・正しい位置に配置されたか確認してください
- ・排水フランジにシリコンが付着しないよう注意してください
- ・パネルの浮きがないようしっかりと押さえつけてください

(8)エッジの取付

- ①エッジ内面にシリコンを塗布し、パネル端面に取付けます

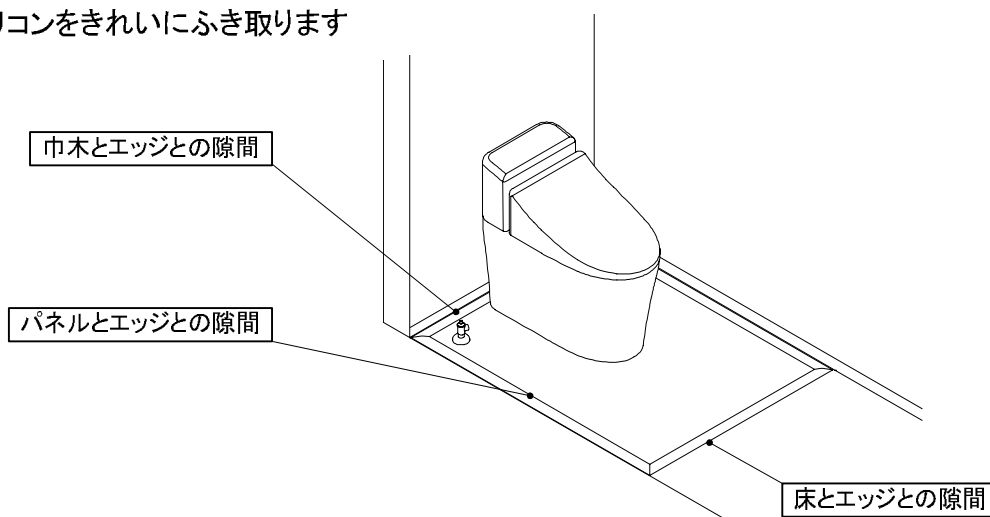


※お願い

- ・シリコンはしっかりと塗布してください
塗布量が少ないと、エッジが剥がれるおそれがあります

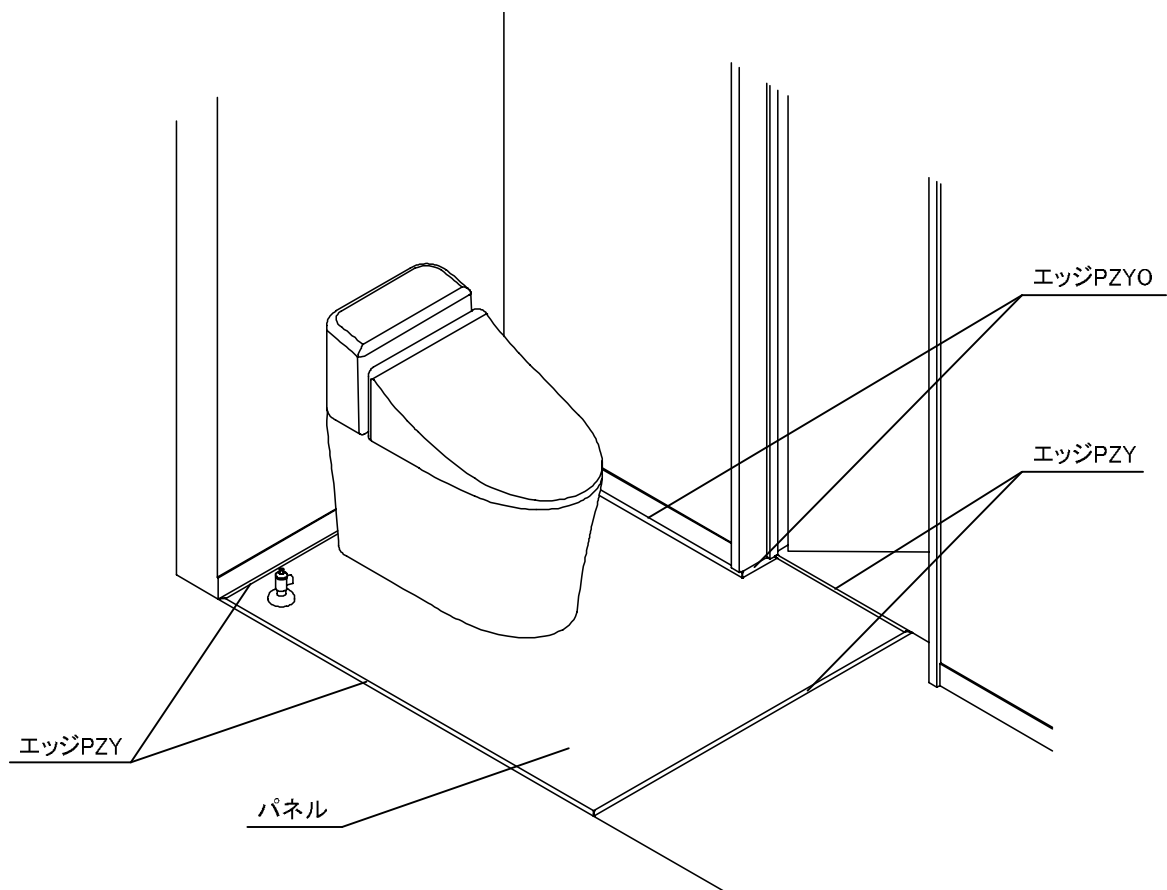
(9)コーキング処理

- ①外観向上および防水処理のため、次の箇所にシリコン剤でコーキング処理を行います
- ②はみ出たシリコンをきれいにふき取ります

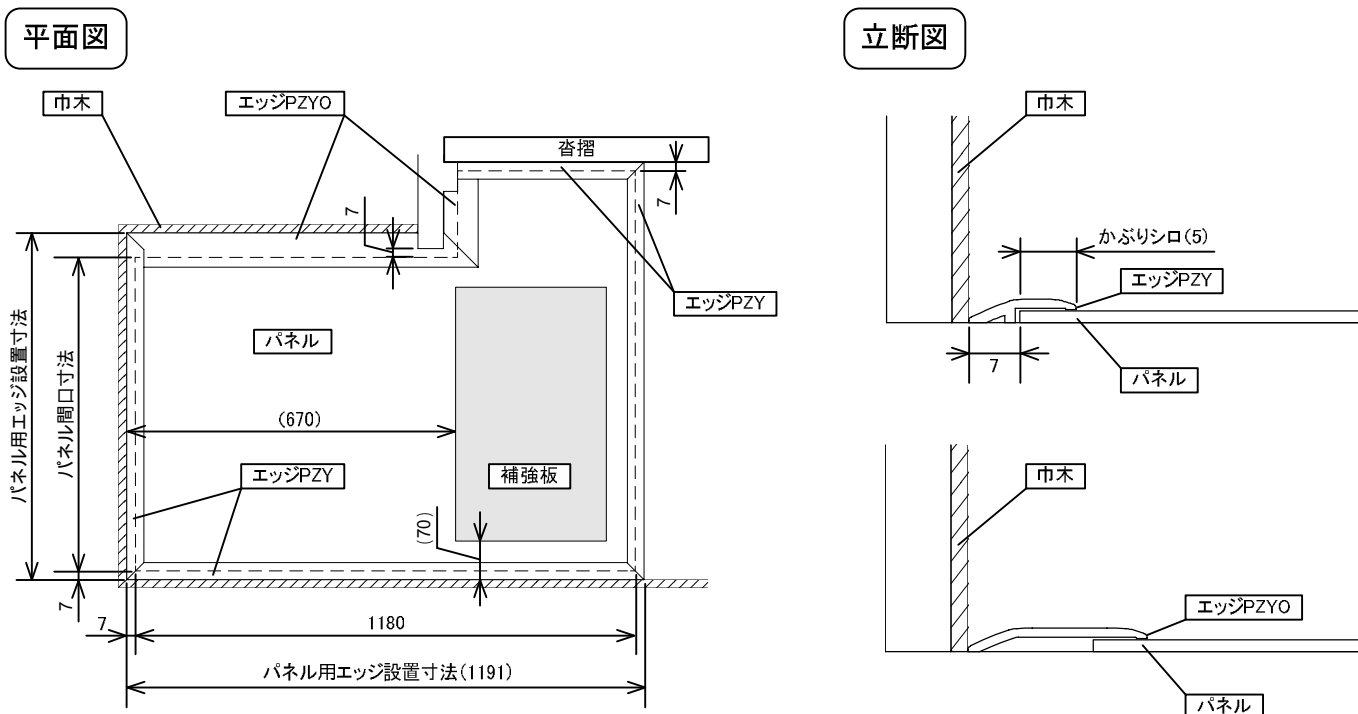


②扉位置が横の場合(a.ケーシング枠なし)

セット完成図

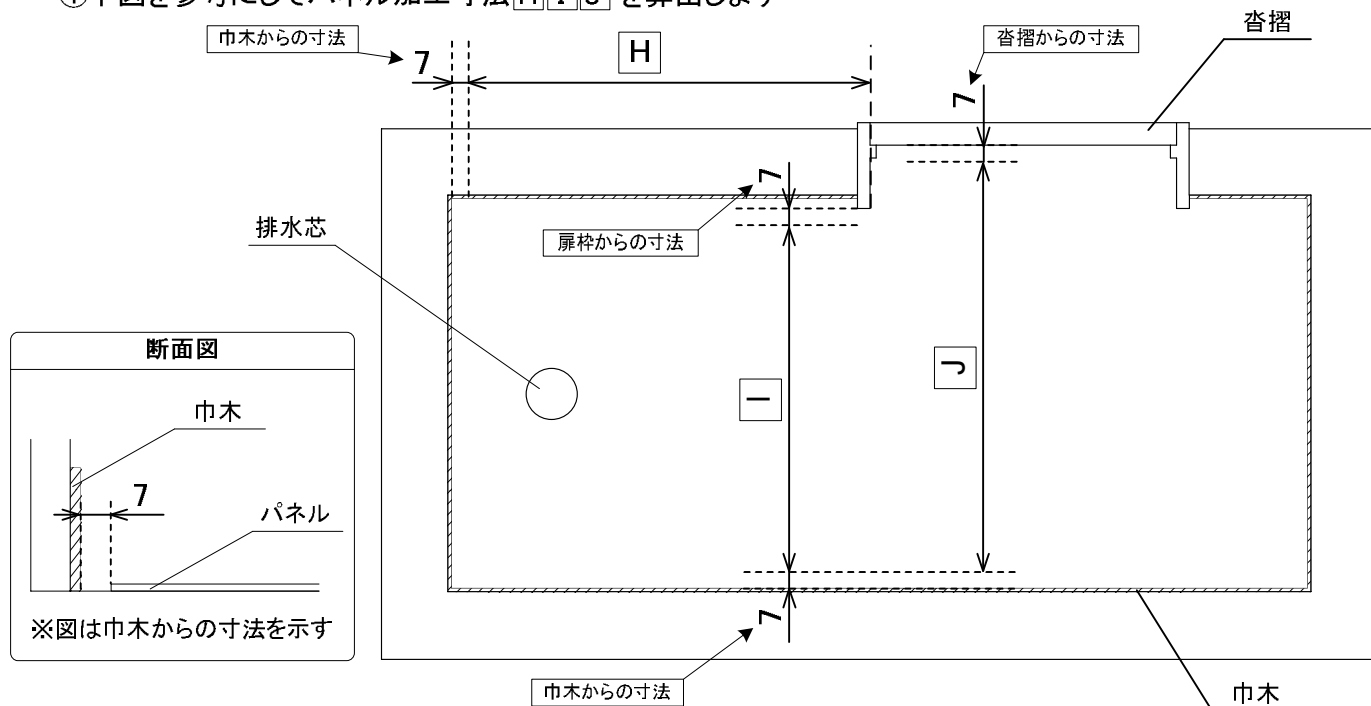


標準設置寸法図



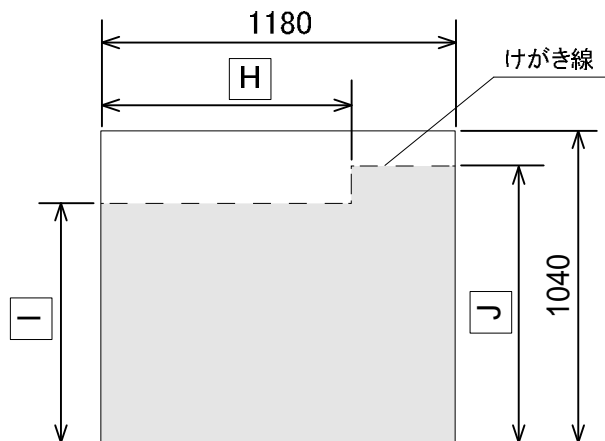
(1) 取付位置確認

① 下図を参考にしてパネル加工寸法 **H** **I** **J** を算出します



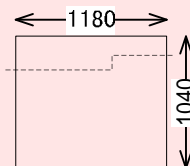
(2) パネル加工

① (1) 取付位置確認 で割り出した寸法 **H** **I** **J** をパネルにけがきます



※お願い

- ・パネルの加工は、必ず1040mmの辺で行ってください



② けがき線に沿ってパネルを切断します

※お願い

- ・切断には必ず当社指定の刃物を用いてください
それ以外の工具で加工すると、ホーローに大きいダメージが発生するおそれがあります

刃物は約10mの切断作業で切れが悪くなってきます

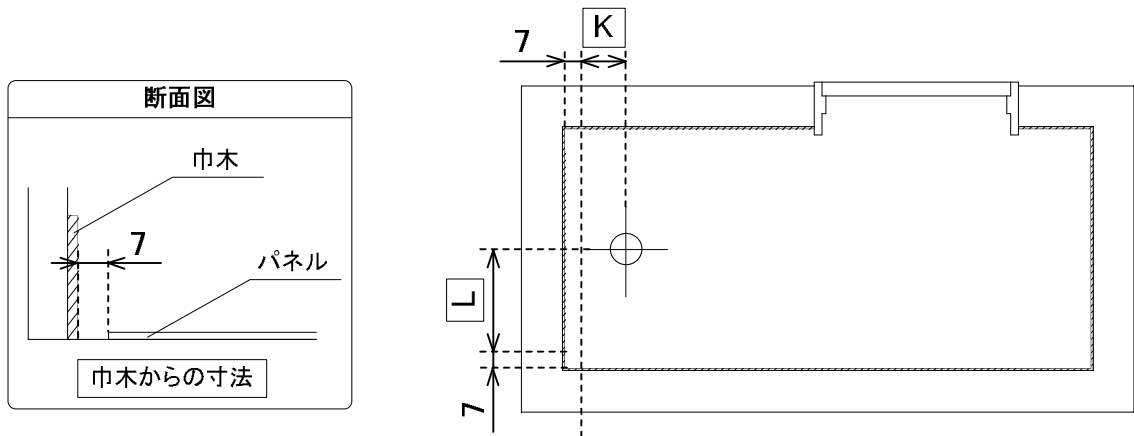
ホーローにダメージ発生のおそれがありますので、約10mを目安に刃物は交換してください

- ・刃物の出シロを20mm～30mm程度にすると、ホーローへのダメージが小さくなります
- ・切断の際はパネルを安定した作業台の上に乗せ、ガイドを設置し切断してください
- ・パネルの養生シートは貼付けたまま切断作業を行ってください
- ・切断の際には切粉が発生しますので防じんマスク、安全メガネを必ず着用してください
- ・作業は屋外で行ってください
やむを得ず屋内で作業を行う場合には、周囲を十分に養生し防じん機能付き丸ノコを使用してください

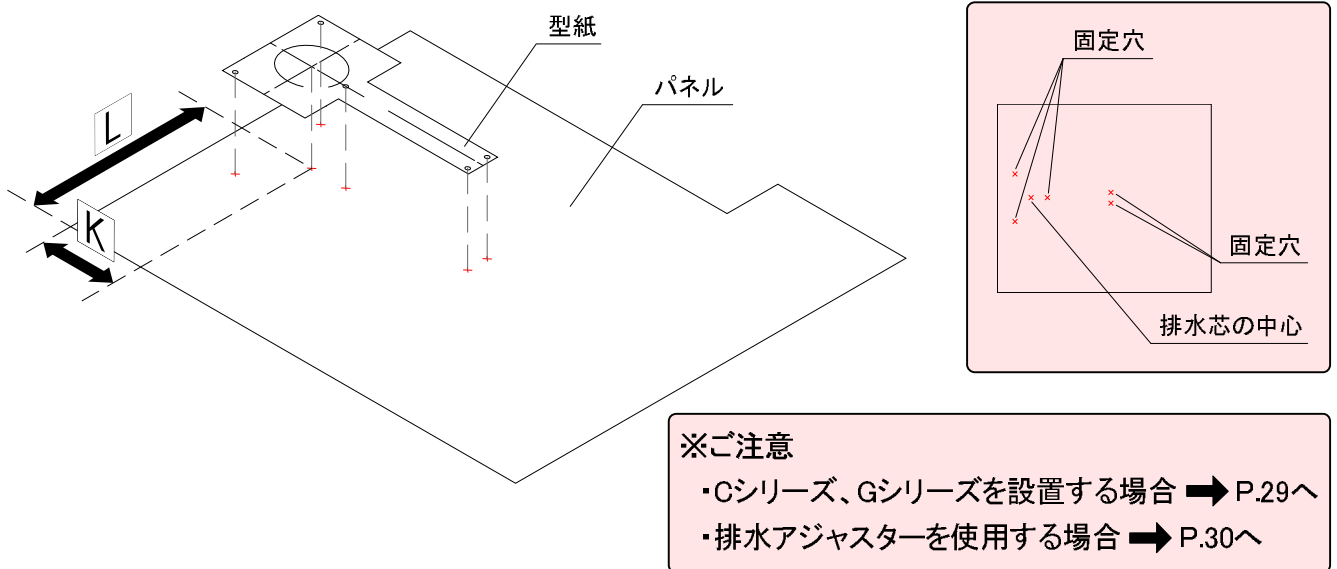
③パネルの穴あけ加工をします

●排水芯・便器固定穴の穴あけ

1. 下図寸法[K][L]を参考にして、パネルに排水芯の中心線をけがきます

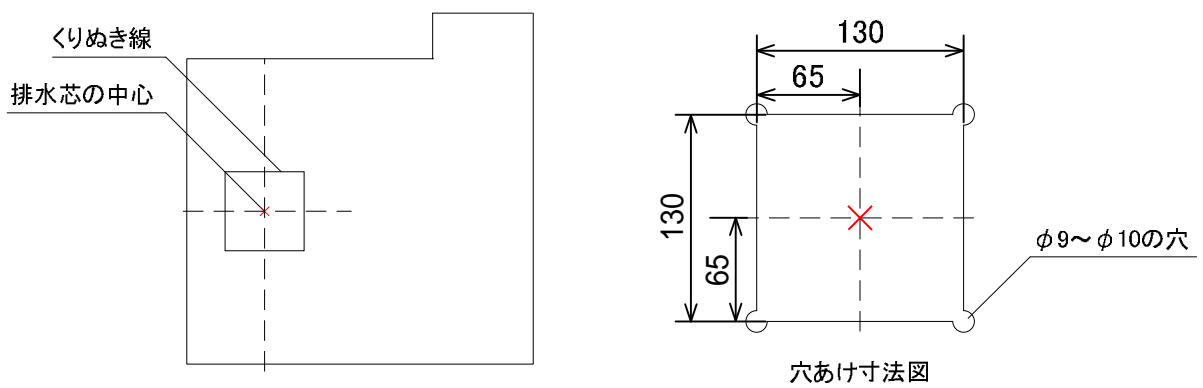


2. 1でけがいた排水芯の中心線に型紙(便器セットに同梱)を合わせ、パネルに排水ソケット固定位置・固定用部材取付位置をけがきます



3. 排水芯の穴あけ

- ・穴あけ箇所の養生シート上にくりぬき線を記入します
- ・くりぬき線の四隅にφ1.5～φ2のガイド穴をあけ、その後φ9～φ10の穴をあけます
- ・記入したくりぬき線に沿って、ジグソーなどでくり抜きます

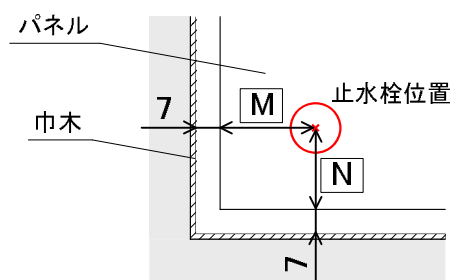


4. 固定穴の穴あけ

- ・2でけがいた固定穴位置にφ1.5～φ2のガイド穴をあけ、その後φ9～φ10の穴をあけます

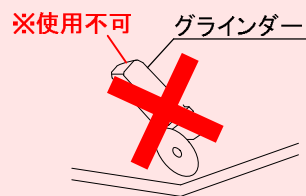
●止水栓の穴あけ

1. 右図寸法 M N を参考にして、
パネルに止水栓の中心線をけがきます
2. 1でけがいた中心線に、
φ50のホールソーを使用して穴をあけます



※お願い

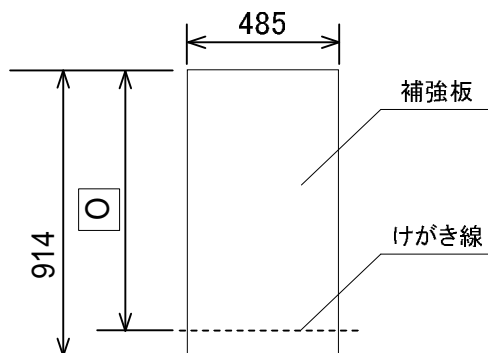
- ・穴あけ加工の際には、グラインダーを絶対に使用しないでください
火の粉がホールソー表面に飛散し、取れなくなります
(ジグソーなどでくりぬいた後の端面仕上げにも使用しないでください)



- ④加工完のパネルを床に合わせ正しく取付位置に納まることを確認し、墨出しを行ってください
※P.13 標準設置寸法図参照

(3)補強板加工

- ①下図を参考にして、補強板加工寸法 O を算出します



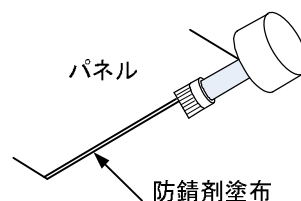
$$\text{補強板加工寸法 (O)} = \text{I 寸法 (mm)} - 130\text{mm}$$

- ② ①で割り出した寸法 O を補強板にけがきます
- ③けがき線に沿って補強板を切断します
- ④加工完の補強板を床に合わせ正しく取付位置に納まることを確認し、墨出しを行ってください
※P.13 標準設置寸法図参照

(4)防錆剤の塗布

- ・切断、穴加工を行ったパネル切断面に対し防錆処理を施します

 - ①切断面にバリがある場合、ヤスリで仕上げます
 - ②切断面が油等で汚れている場合、よくふき取ります
 - ③切断面に防錆剤を塗布します

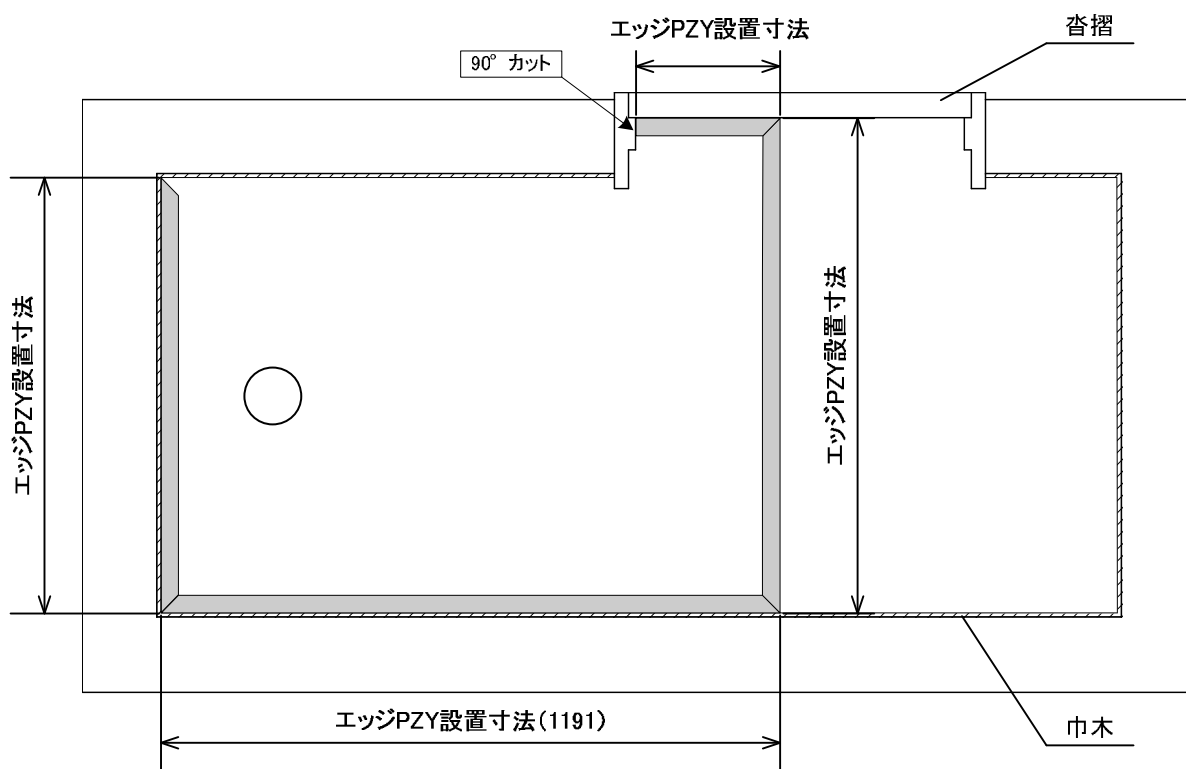


※お願い

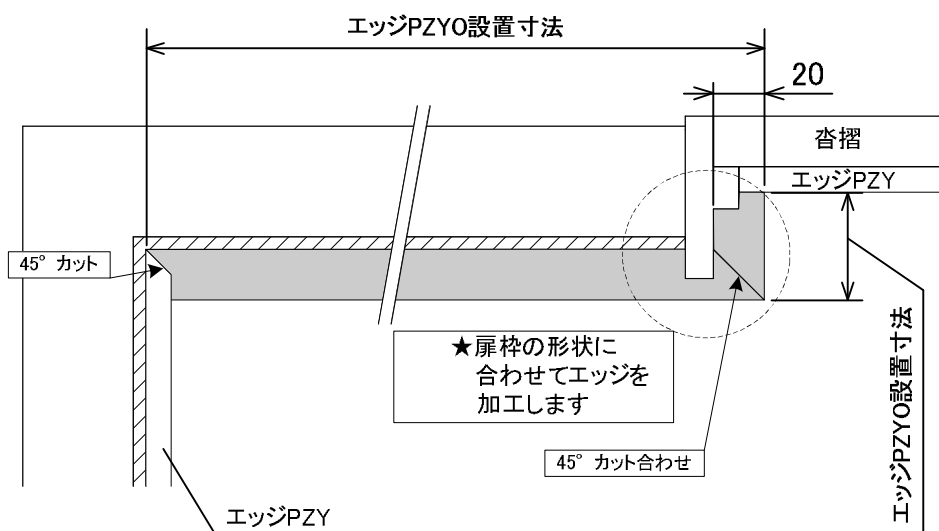
- ・必ず当社指定の防錆剤を使用してください
- ・防錆剤は防錆成分が沈殿していますので、使用の際にはよくかき混ぜてお使いください
- ・塗布は塗りムラのないよう行ってください

(5)エッジ加工

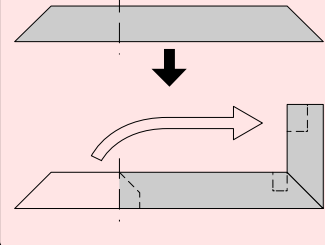
①下図を参考にしてエッジPZY(幅12mm)の加工寸法を採寸し、切断します



②下図を参考にしてエッジPZYO(幅20mm)の加工寸法を採寸し、切断します



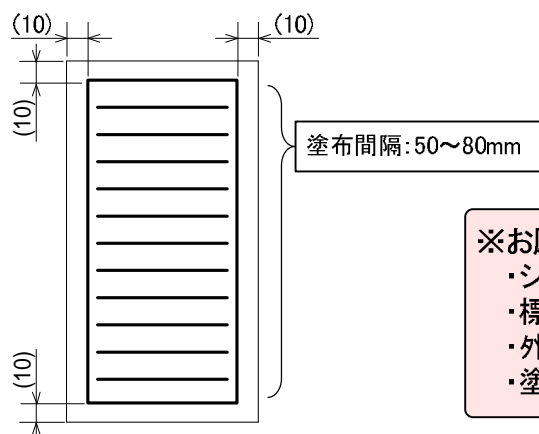
★ポイント
両端の45° カット部を利用して突合せをすればきれいに仕上がります



(6)補強板の設置

①シリコンの塗布

1. 塗布面(補強板裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に当社指定のシリコンを塗布します

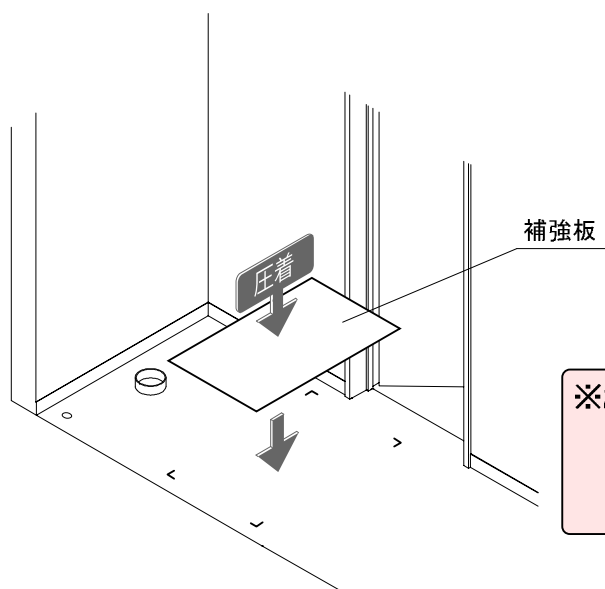


※お願い

- ・シリコン剤は必ず当社指定のものを使用してください
- ・標準塗布量は1m当り約20mlです(接着剤太さ5mm程度)
- ・外周部はパネルより10mm程度控えて塗布してください
- ・塗布後15分以内にパネル取付を行ってください

②補強板の設置

1. 床面のほこり等をふき取ります
2. (3)補強板加工 (4)で墨出した基準線に沿って、補強板を床面に軽く置きます
3. 補強板をしっかりと圧着します



※お願い

- ・正しい位置に配置されたか確認してください
- ・排水フランジにシリコンが付着しないよう注意してください
- ・パネルの浮きがないようしっかりと押さえつけてください

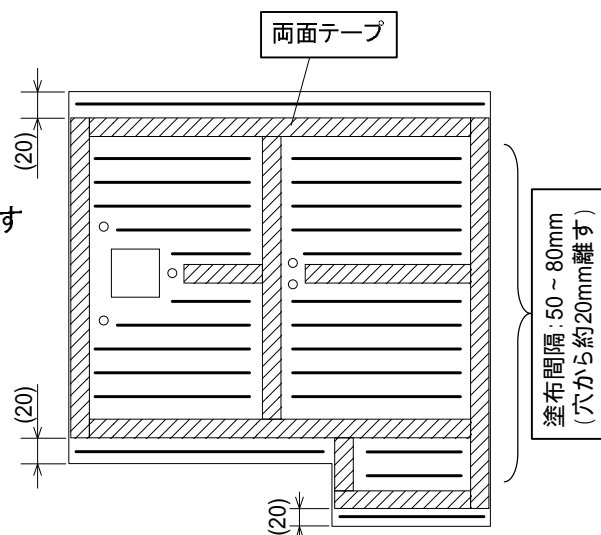
(7)パネルの設置

①両面テープの貼付

1. 塗布面(パネル裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に両面テープを貼付けます
3. 貼付け後、テープ離型紙の上からよく押さえつけます

②シリコンの塗布

1. 塗布面(パネル裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に当社指定のシリコンを塗布します



※お願い

- ・シリコン剤は必ず当社指定のものを使用してください
- ・標準塗布量は1m当り約20mlです(接着剤太さ5mm程度)
- ・塗布後15分以内にパネル取付を行ってください

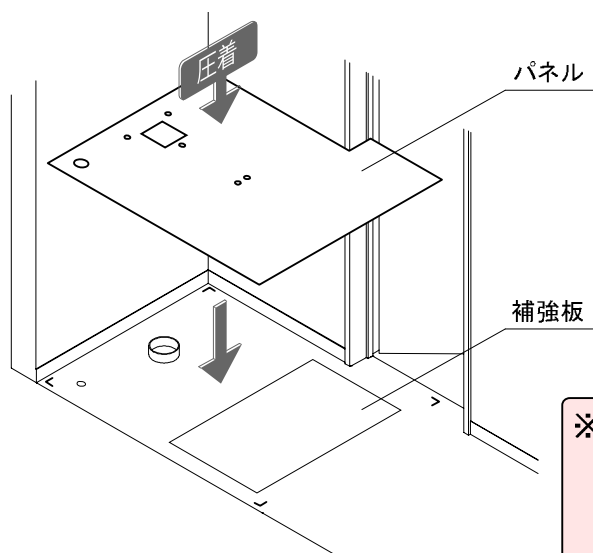
【色対応表】

※パネル色、エッジ色、シリコン色の対応は下記表を参照ください

パネル色	エッジ色	対応シリコン
大理石柄ホワイト(DWT) 木目柄ホワイト(YWT)	ホワイト(MW)	シリコンSBKP ホワイト2
木目柄ベージュ(YVT)	ベージュ(MB)	シリコンSBKP Dアイボリー

②パネルの設置

1. 床面のほこり等をふき取ります
2. 両面テープの離型紙をはがします
3. (2)パネル加工 (5)で墨出した基準線に沿って、パネルを床面に軽く置きます
4. パネル位置調整後、しっかりと圧着します



※ご注意

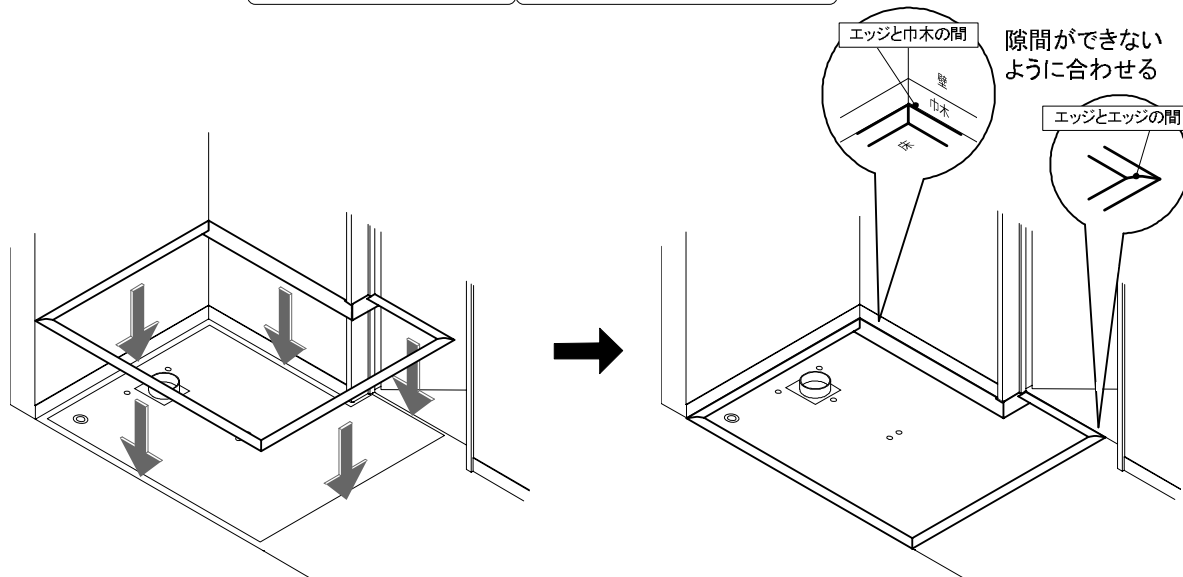
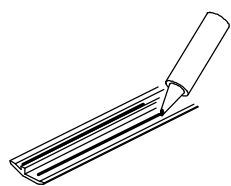
- ・建築側に傷を付けないよう、ゆっくりと倒しながら設置してください

※お願い

- ・正しい位置に配置されたか確認してください
- ・排水フランジにシリコンが付着しないよう注意してください
- ・パネルの浮きがないようしっかりと押さえつけてください

(8) エッジの取付

① エッジ内面にシリコンを塗布し、パネル端面に取付けます



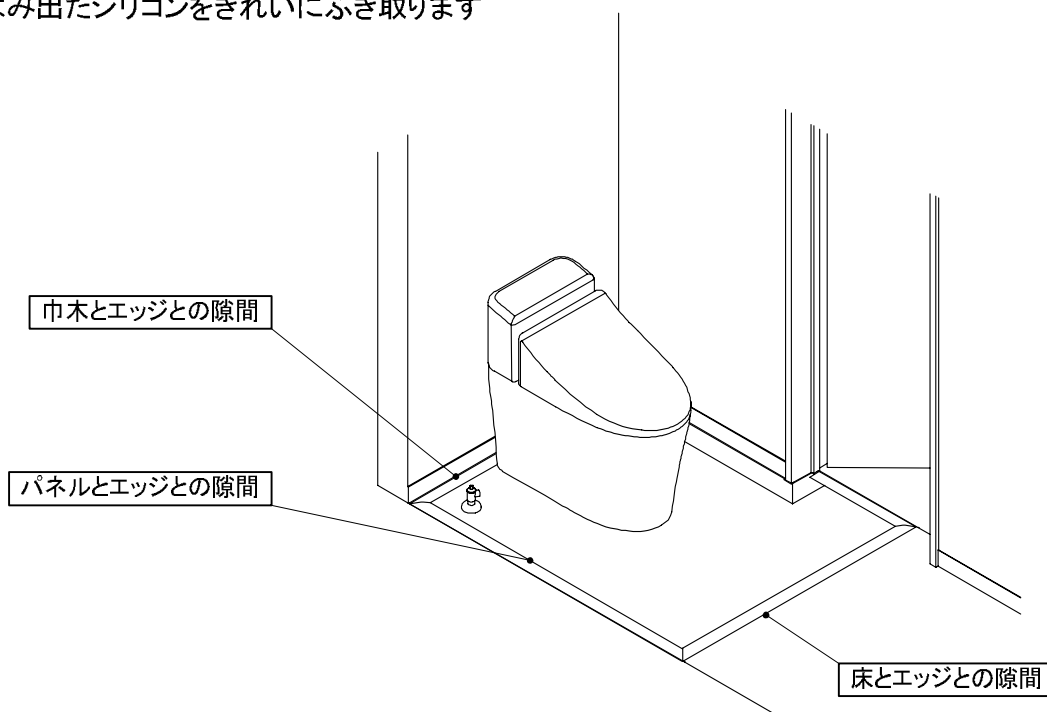
※お願い

- ・シリコンはしっかりと塗布してください
- 塗布量が少ないと、エッジが剥がれるおそれがあります

(9) コーキング処理

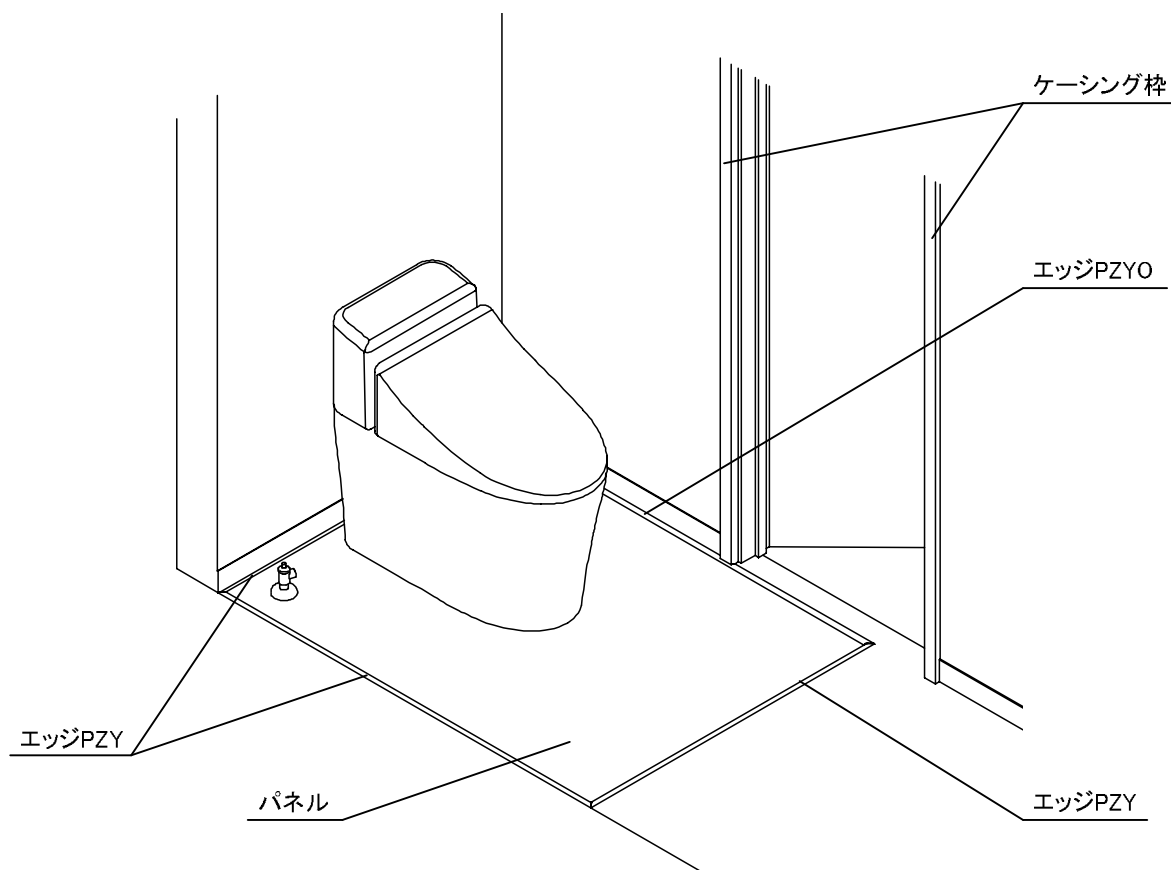
① 外観向上および防水処理のため、次の箇所にシリコン剤でコーキング処理を行います

② はみ出たシリコンをきれいにふき取ります



②扉位置が横の場合 (b.ケーシング枠あり)

セット完成図

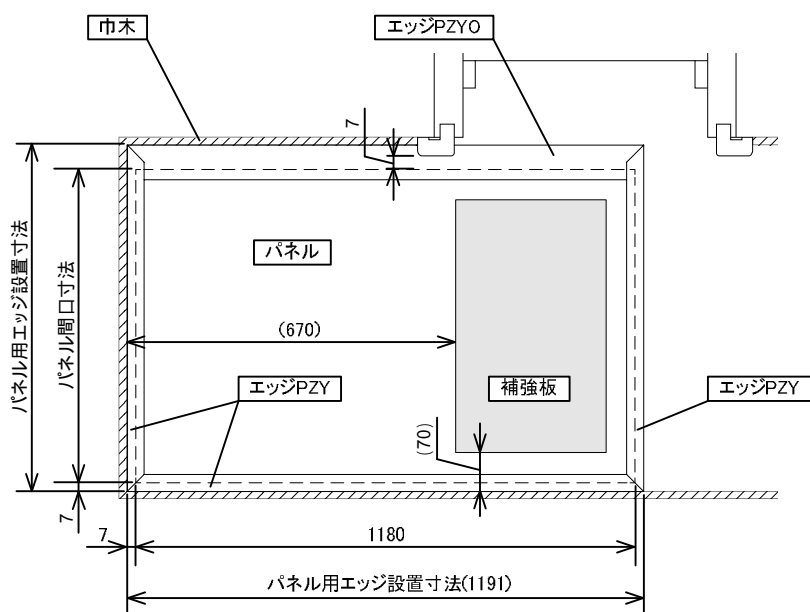


※図はエッジPZYO使用時を示す

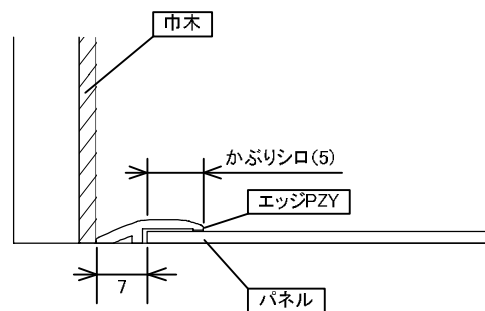
標準設置寸法図

平面図

※図はエッジPZYO使用時を示す

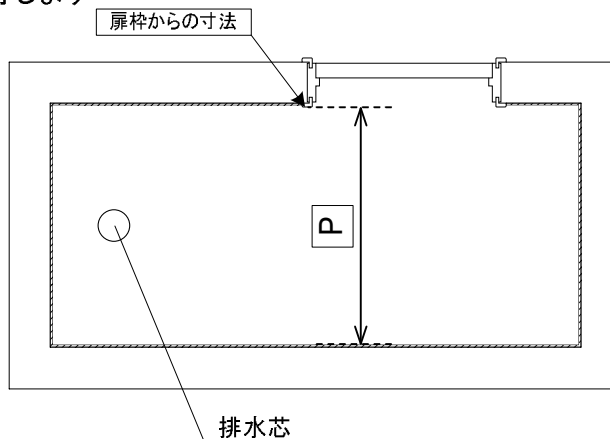


立断図



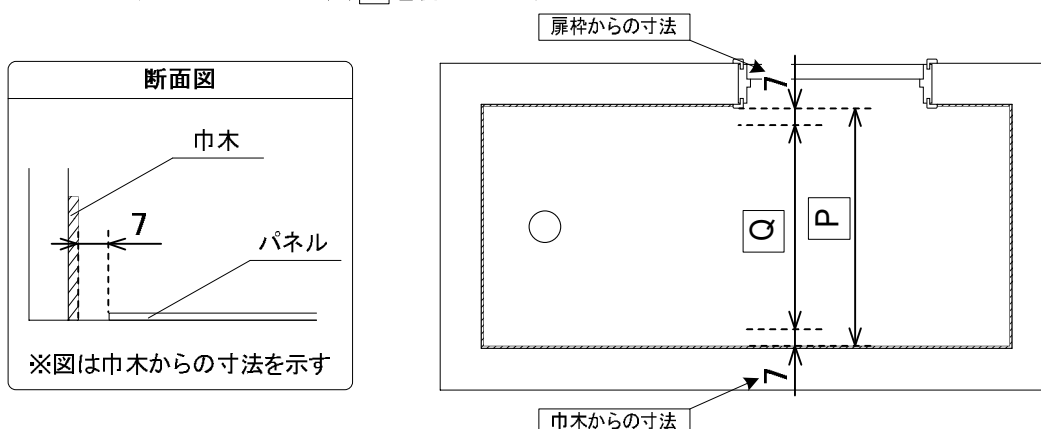
(1) 取付位置確認

① 下図を参考にして、設置間口寸法 P を採寸します



(2) パネル加工

① 下図を参考にして、パネル加工寸法 Q を算出します



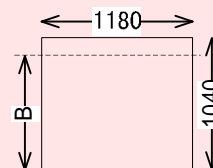
② ①で割り出した寸法 Q をパネルにけがきます

③ けがき線に沿ってパネルを切断します

$$\text{パネル切断後寸法}(Q) = P \text{ 寸法}(\text{mm}) - 14\text{mm}$$

※お願い

・パネルの加工は、必ず
1040mmの辺で行ってください



※お願い

・切断には必ず当社指定の刃物を用いてください
それ以外の工具で加工すると、ホーローに大きいダメージが発生するおそれがあります

刃物は約10mの切断作業で切れが悪くなってきます

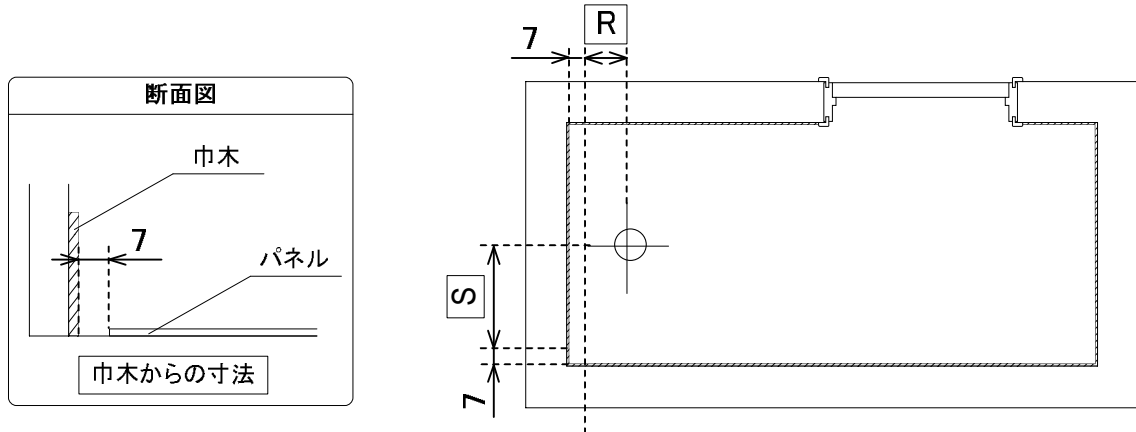
ホーローにダメージ発生のおそれがありますので、約10mを目安に刃物は交換してください

- ・刃物の出シロを20mm～30mm程度にすると、ホーローへのダメージが小さくなります
- ・切断の際はパネルを安定した作業台の上に乗せ、ガイドを設置し切断してください
- ・パネルの養生シートは貼付けたまま切断作業を行ってください
- ・切断の際には切粉が発生しますので防じんマスク、安全メガネを必ず着用してください
- ・作業は屋外で行ってください
やむを得ず屋内で作業を行う場合には、周囲を十分に養生し防じん機能付き丸ノコを使用してください

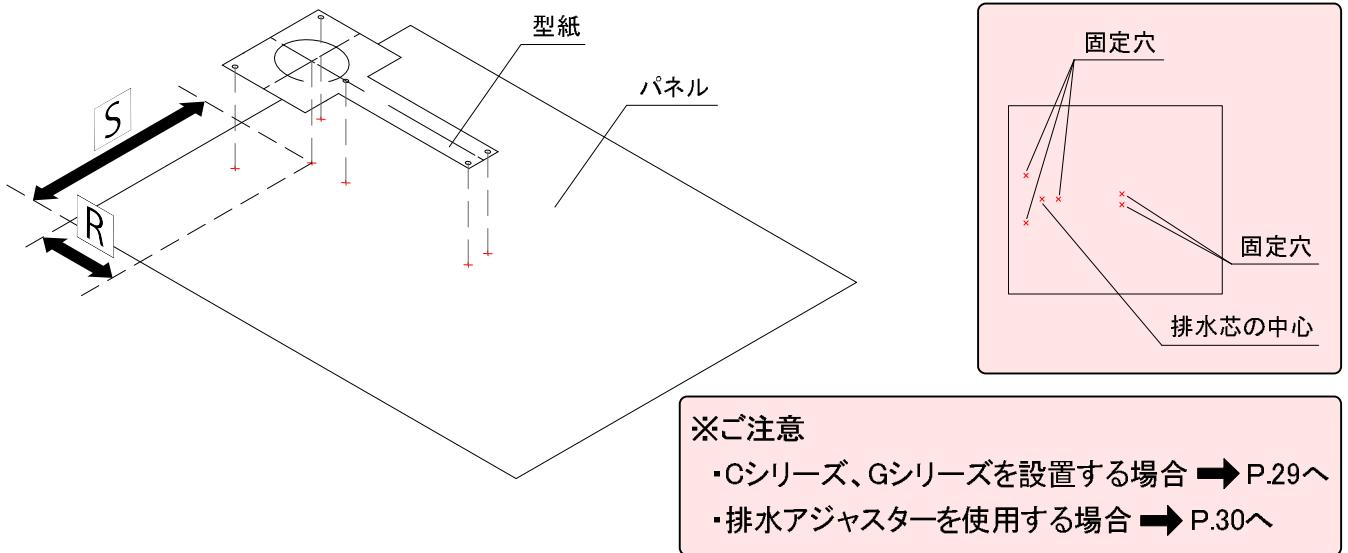
④パネルの穴あけ加工をします

●排水芯・便器固定穴の穴あけ

1. 下図寸法R[S]を参考にして、パネルに排水芯の中心線をけがきます

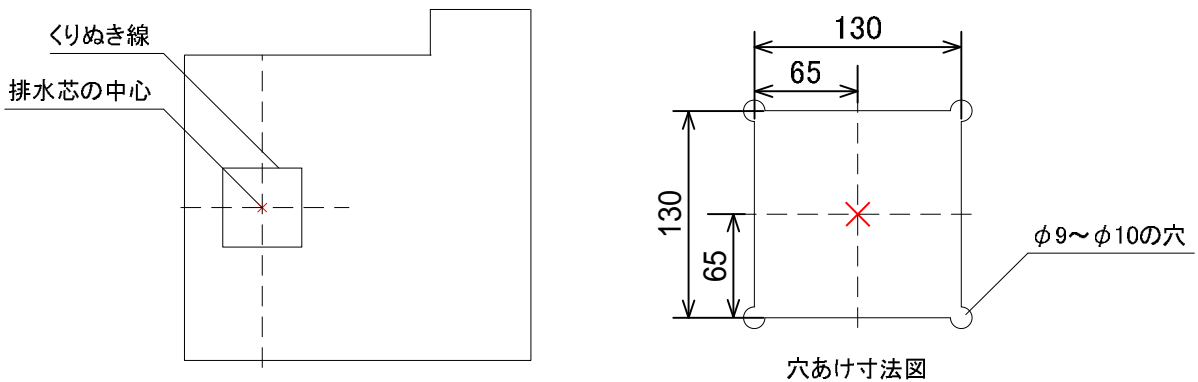


2. 1でけがいた排水芯の中心線に型紙(便器セットに同梱)を合わせ、パネルに排水ソケット固定位置・固定用部材取付位置をけがきます



3. 排水芯の穴あけ

- ・穴あけ箇所の養生シート上にくりぬき線を記入します
- ・くりぬき線の四隅にφ1.5～φ2のガイド穴をあけ、その後φ9～φ10の穴をあけます
- ・記入したくりぬき線に沿って、ジグソーなどでくり抜きます

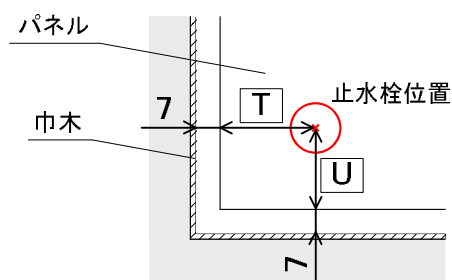


4. 固定穴の穴あけ

- ・2でけがいた固定穴位置にφ1.5～φ2のガイド穴をあけ、その後φ9～φ10の穴をあけます

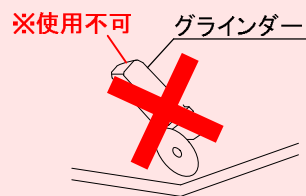
●止水栓の穴あけ

1. 右図寸法T Uを参考にして、
パネルに止水栓の中心線をけがきます
2. 1でけがいた中心線に、
φ50のホールソーを使用して穴をあけます



※お願い

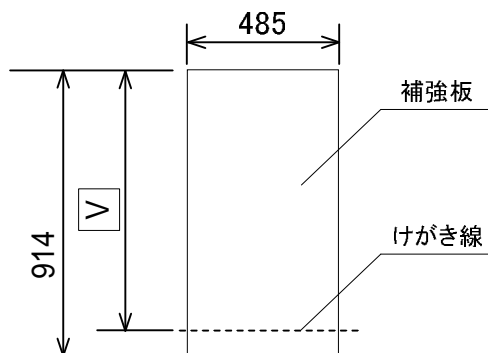
- ・穴あけ加工の際には、グラインダーを絶対に使用しないでください
火の粉がホールソー表面に飛散し、取れなくなります
(ジグソーなどでくりぬいた後の端面仕上げにも使用しないでください)



- ④加工完のパネルを床に合わせ正しく取付位置に納まることを確認し、墨出しを行ってください
※P.21 標準設置寸法図参照

(3)補強板加工

- ①下図を参考にして、補強板加工寸法 V を算出します



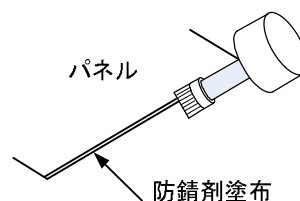
$$\text{補強板加工寸法 (V)} = \text{Q 寸法 (mm)} - 130\text{mm}$$

- ② ①で割り出した寸法 V を補強板にけがきます
- ③けがき線に沿って補強板を切断します
- ④加工完の補強板を床に合わせ正しく取付位置に納まることを確認し、墨出しを行ってください
※P.21 標準設置寸法図参照

(4)防錆剤の塗布

- ・切断、穴加工を行ったパネル切断面に対し防錆処理を施します

 - ①切断面にバリがある場合、ヤスリで仕上げます
 - ②切断面が油等で汚れている場合、よくふき取ります
 - ③切断面に防錆剤を塗布します

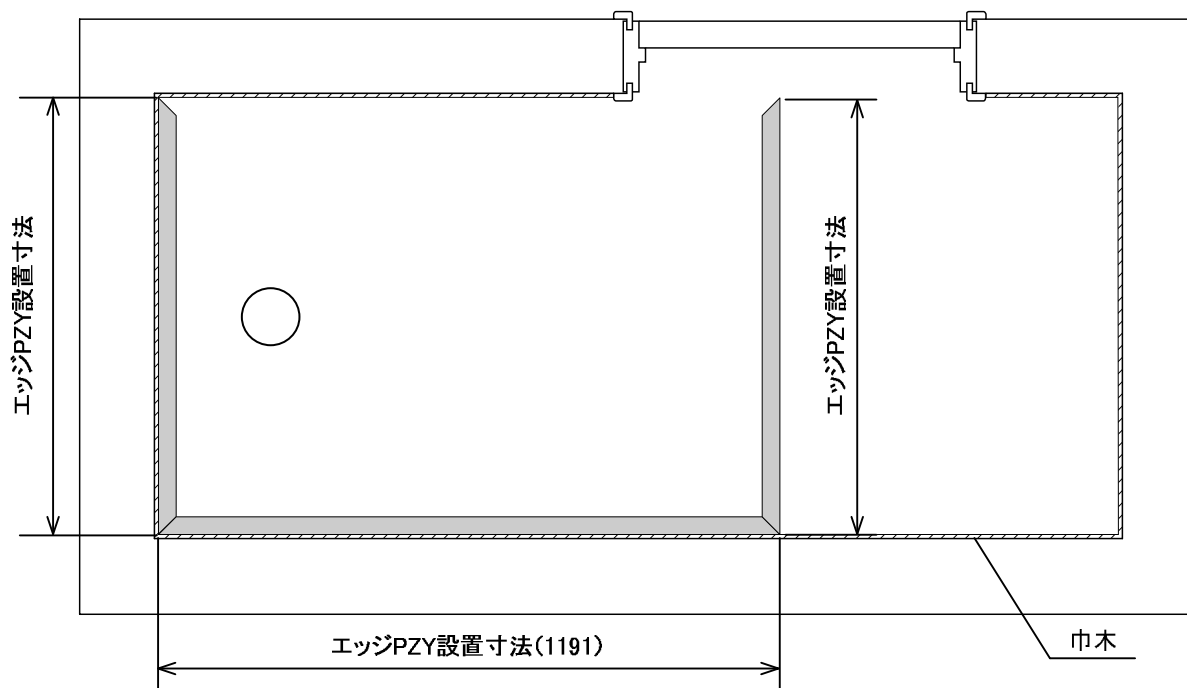


※お願い

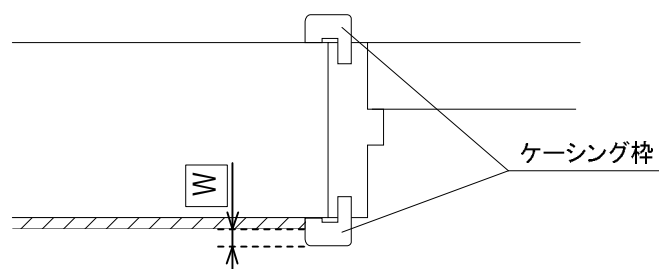
- ・必ず当社指定の防錆剤を使用してください
- ・防錆剤は防錆成分が沈殿していますので、使用の際にはよくかき混ぜてお使いください
- ・塗布は塗りムラのないよう行ってください

(5)エッジ加工

①下図を参考にしてエッジの加工寸法を採寸し、切断します

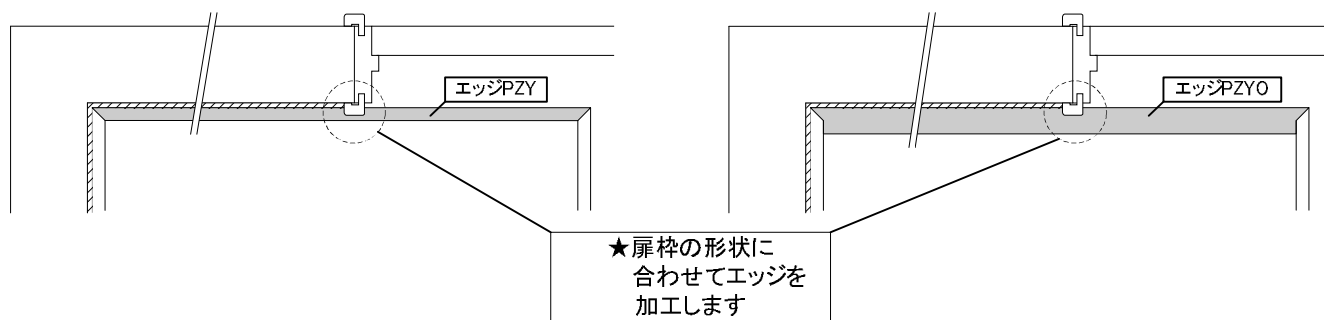


②下図を参考にして、ケーシング枠部の出幅[W]を採寸します



・[W]が4mm未満の場合…エッジPZYを使用します

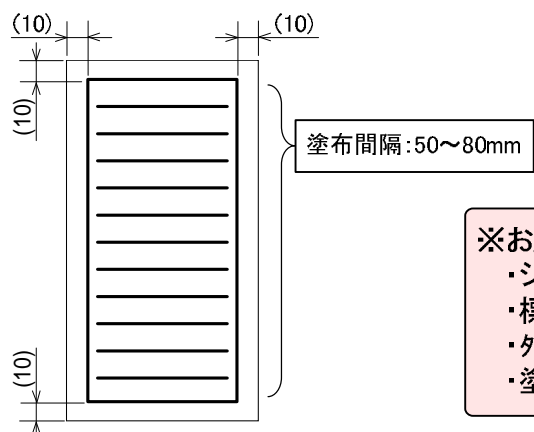
・[W]が4mm以上の場合…エッジPZYOを使用します



(6)補強板の設置

①シリコンの塗布

1. 塗布面(補強板裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に当社指定のシリコンを塗布します

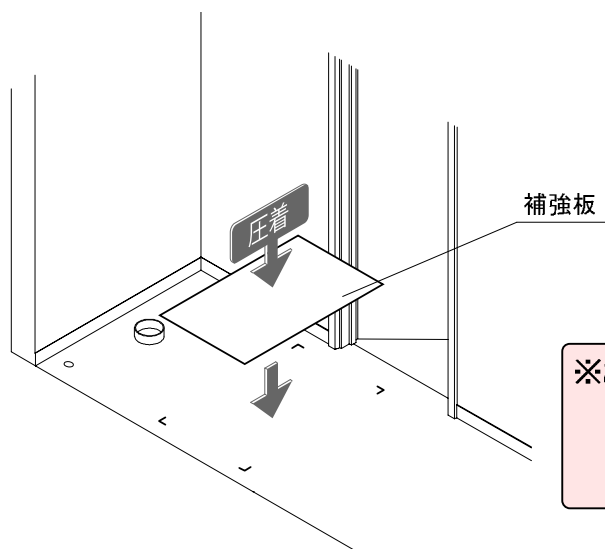


※お願い

- ・シリコン剤は必ず当社指定のものを使用してください
- ・標準塗布量は1m当り約20mlです(接着剤太さ5mm程度)
- ・外周部はパネルより10mm程度控えて塗布してください
- ・塗布後15分以内にパネル取付を行ってください

②補強板の設置

1. 床面のほこり等をふき取ります
2. (3)補強板加工 (4)で墨出した基準線に沿って、補強板を床面に軽く置きます
3. 補強板をしっかりと圧着します



※お願い

- ・正しい位置に配置されたか確認してください
- ・排水フランジにシリコンが付着しないよう注意してください
- ・パネルの浮きがないようしっかりと押さえつけてください

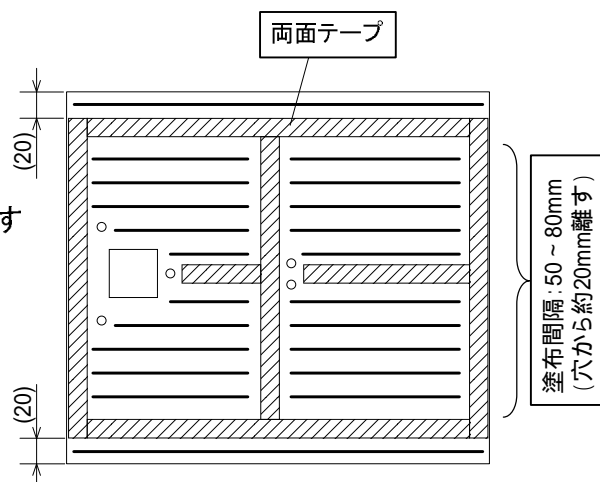
(7)パネルの設置

①両面テープの貼付

1. 塗布面(パネル裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に両面テープを貼付けます
3. 貼付け後、テープ離型紙の上からよく押さえつけます

②シリコンの塗布

1. 塗布面(パネル裏面)のほこり等をふき取ります
2. 所定の位置に当社指定のシリコンを塗布します



※お願い

- ・シリコン剤は必ず当社指定のものを使用してください
- ・標準塗布量は1m当り約20mlです(接着剤太さ5mm程度)
- ・塗布後15分以内にパネル取付を行ってください

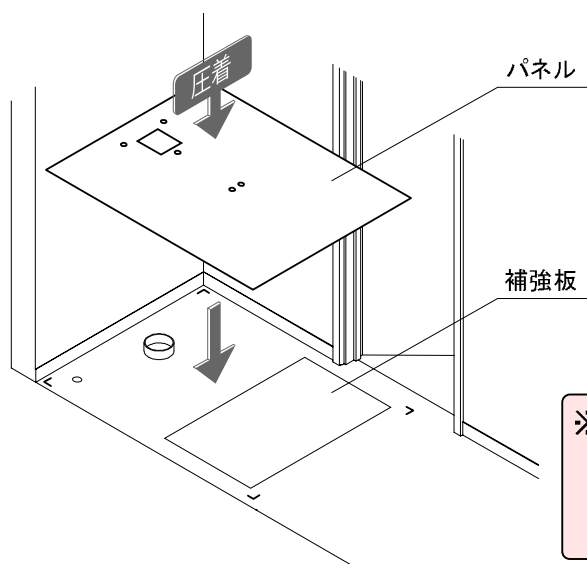
【色対応表】

※パネル色、エッジ色、シリコン色の対応は下記表を参照ください

パネル色	エッジ色	対応シリコン
大理石柄ホワイト(DWT) 木目柄ホワイト(YWT)	ホワイト(MW)	シリコンSBKP ホワイト2
木目柄ベージュ(YVT)	ベージュ(MB)	シリコンSBKP Dアイボリー

②パネルの設置

1. 床面のほこり等をふき取ります
2. 両面テープの離型紙をはがします
3. (2)パネル加工 (5)で墨出した基準線に沿って、パネルを床面に軽く置きます
4. パネル位置調整後、しっかりと圧着します



※ご注意

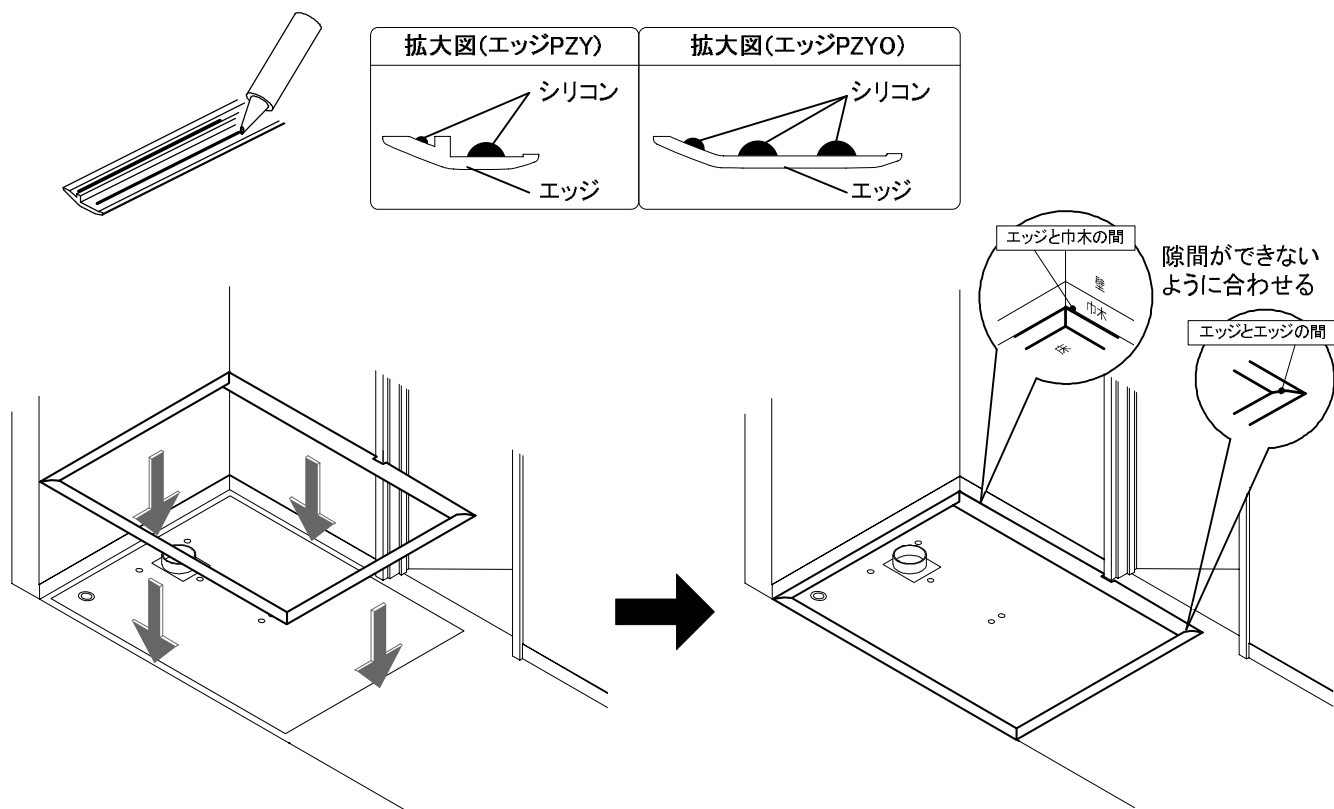
- ・建築側に傷を付けないよう、ゆっくりと倒しながら設置してください

※お願い

- ・正しい位置に配置されたか確認してください
- ・排水フランジにシリコンが付着しないよう注意してください
- ・パネルの浮きがないようしっかりと押さえつけてください

(8) エッジの取付

① エッジ内面にシリコンを塗布し、パネル端面に取付けます



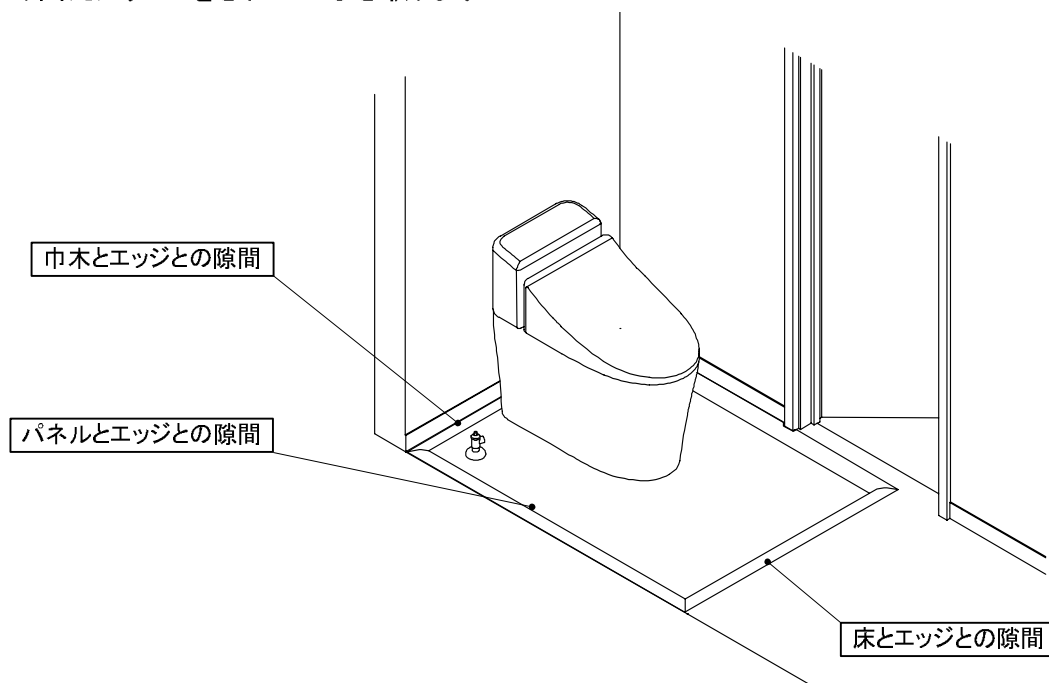
※お願い

- ・シリコンはしっかりと塗布してください
塗布量が少ないと、エッジが剥がれるおそれがあります

(9) コーキング処理

① 外観向上および防水処理のため、次の箇所にシリコン剤でコーキング処理を行います

② はみ出たシリコンをきれいにふき取ります

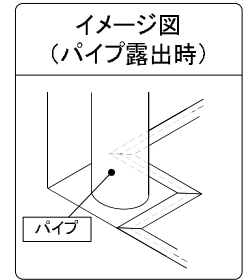
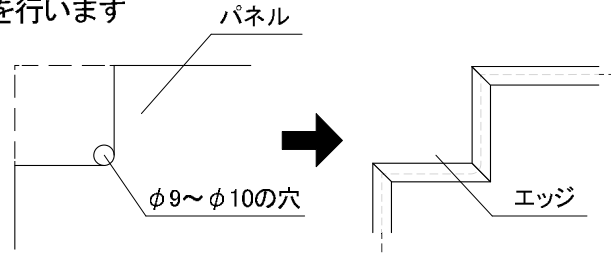


オプション設置の場合

キャビネット、建築側などと干渉する場合

・干渉するパネル部分の切り欠き加工を行います

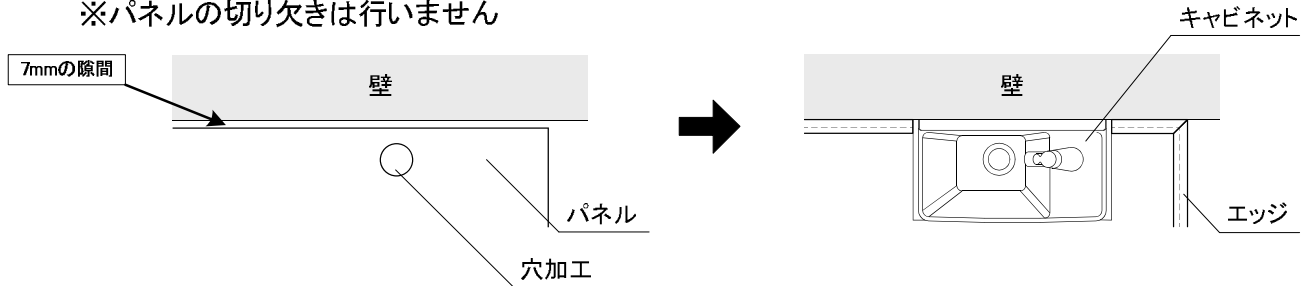
- ① $\phi 9 \sim \phi 10$ mmの穴をあけます
- ② 丸のこなどで切断します
- ③ 切断面に防錆剤を塗布します
- ④ エッジを取り付けます



☆キャビネットがパネルに全て重なる場合は

・現場の給排水配管位置に合わせて、パネルに必要な穴(給水管・排水管用)をあけます

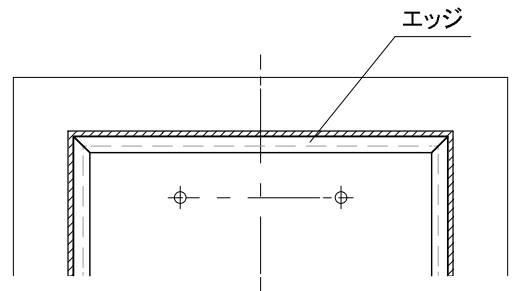
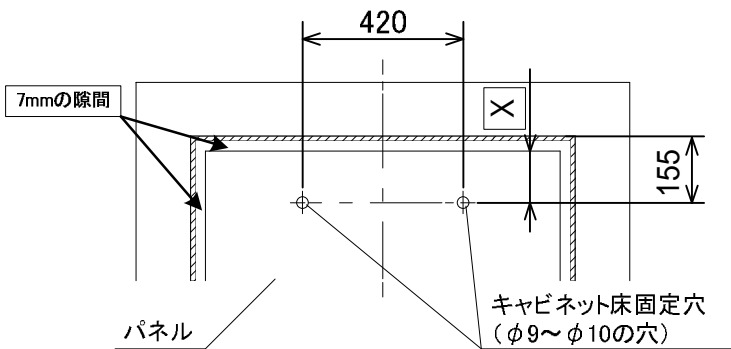
※パネルの切り欠きは行いません



Cシリーズを設置する場合

- ① パネル穴あけ加工時に、下図の通りキャビネット床固定穴を2箇所追加してあけます
- ② 防錆剤を塗布します

- ③ パネル、エッジを取付けます
- ④ 設置説明書にしたがってCシリーズを設置します



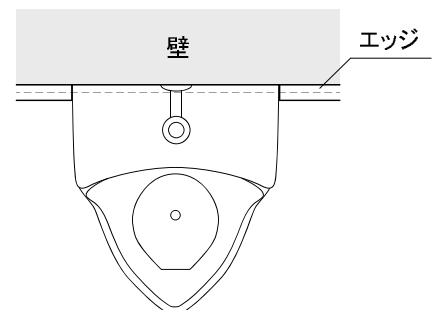
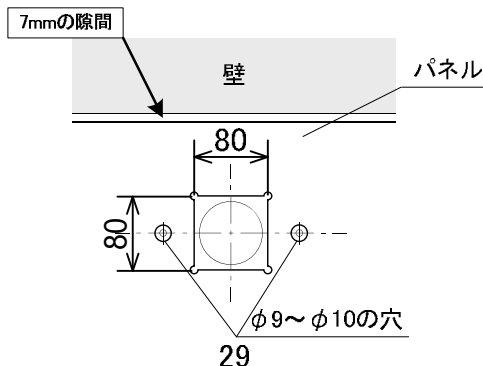
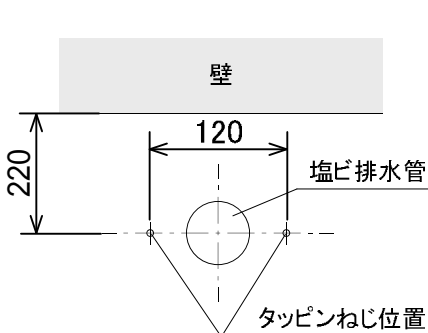
加工穴位置寸法 (X) = 155mm - 巾木寸法 (mm) - 7mm

Gシリーズを設置する場合

- ① 取付け位置を確認します

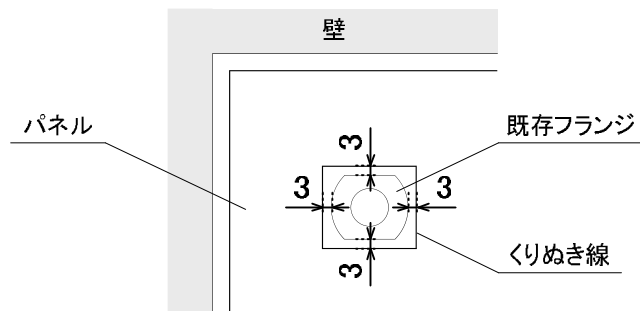
- ② パネルの穴加工をします
- ③ 防錆剤を塗布します

- ④ パネル、エッジを取付けます
- ⑤ 設置説明書にしたがってGシリーズを設置します



排水アジャスターを使用する場合

- ・既存フランジより3mm大きい寸法で、穴あけのくりぬき線を記入します
※固定穴位置は、同梱されている型紙を合わせて確認してください



点検・仕上げ

- ・設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませて固くしぼった布で軽くふいてください。
その後、乾いた布でふき取ってください。
- ・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを落としてください。
その後、水を含ませて固くしぼった布、または水をよく切ったスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意: 溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。製品をいためるおそれがあります。



お願い事項

●製品の養生

すべての作業が完了しましたら、保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

トイレおよびオプション製品の取扱説明書は製品上部に置き、お引き渡しの際に不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

保証書

お客様	お名前 様	品名	ホーロークリーン トイレパネル(フロア用)
	ご住所 〒		
	TEL ()		
販売店		保証期間	お買い上げ日から 1年間
	TEL () 印		
		お買い上げ日	年 月 日

- ・本保証書は、当社のホーロークリーントイレパネルで使用する製品及びそれに付帯する部品を対象とします。
- ・取扱説明書に保証書が添付されている関連商品については、各々の保証書記載内容によります。

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又はお客様相談窓口に出張修理をご依頼のうえ、修理の際は、本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又はお客様相談窓口にご相談ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
 - (2) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (3) 鉄分などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷
 - (4) メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
 - (5) お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (6) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化又は使用に伴う摩擦等により生じる外観上の現象
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
 - (8) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
 - (11) 異常電圧、指定外の使用電圧（電圧、周波数）などによる故障及び破損
 - (12) 水栓金具において、砂やゴミ等の異物流入による不具合
 - (13) 温泉水、井戸水などにあつて水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことに起因する不具合
 - (14) 凍結に起因する不具合
 - (15) 本書の提示がない場合
 - (16) 本書にお客様名、販売店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書換えられた場合
 - (17) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。**(This warranty is valid only in Japan.)**
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはフリーダイヤルにお問い合わせください。


タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

☎ 0120-557-910

アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。
また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルにご連絡ください。

 **0120-557-910** 受付時間9:00～18:00(土日祝、夏季・年末年始休業日を除く)

※PHS・携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1)製品品番
- (2)異常の状況
- (3)ご購入年月日
- (4)お名前・ご住所・お電話番号

【修理料金のしくみ】

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

タカラスタンダードお客様サポートサイト <http://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

インターネットでの修理のご依頼、消耗品・小物のご注文も可能です。

〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。
修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈よくあるご質問〉

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。
修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

〈消耗品・小物のご注文〉

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。
※一部、取扱いのない商品もございます。フリーダイヤル(0120-557-910)までお問い合わせ願います。

※お客様の個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。
詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

【廃棄について】

この商品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

11265293
4L-1
取設置説PZY0(1)